

教える秘訣

小学上級科編



教
え
る
秘
訣

小
学
上
級
科
編

C・ヴァン・ネス著

¥ 1,000

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

日曜学校部

教える秘訣

小学上級科編

チャールズ・ヴァン・ネス著
桜井理恵子訳

序

「あなたが老人を救えば、一単位を救ったことになる。しかし一人の少年を救えば、掛け算九れ表を救ったことになる。」

「ジプシー」スミスによるこの言葉は、小学上級科の教師にとって、一つの挑戦であり、また励ましの言葉でもあります。なぜならそのような教師は毎日曜日、部屋一杯の九々算表と一緒に働いているからです。彼等はいつの日にか、日曜学校で学んだ事柄を応用し、その真理を実地に生活の中で実践し、また他人に教えるようになるのです。

挑戦というのは、あやまちもまた、これらの人間発電機とも言うべき者たちを通して伝達されるということの認識によって起こるのです。間違った教え、間違った態度は生徒たちに移されます。生徒たちはこれらのあやまちを彼らの生活の中で持ち回ります。この冷徹な事実を思いみる時、良心的教師は神様の前にひざまずき、知恵と恵みを求めずにはおれなくなるのです。

励ましと言うのは、活発で熱心な小学上級科生の教室は、教師の熱心な努力が無限に拡大される可能性を示しているということです、なぜなら教師は教室の中で、やがて将来、次の世代に同じメッセージを伝

JUNIOR WORKERS HANDBOOK

by Charles Van Ness

©Copyright, 1963 by the Gospel Publishing House
Springfield, Missouri, U. S. A.

Translated by Rieko Sakurai

Published by Japan Assemblies of God
Sunday School Department

1970

えていくところの、生きた、成長しつつある人物たちに語っているからなのです。ですから教師は単に次の日曜日のために学課を準備するのではなく、少年少女たちの変えられた生活を通して、何十年もの間放送するために準備をします。

この手引き書は、教師たちが教室にはいり、「九九算表」に教え始める際に重くのしかかってくる、彼らに対する上よりの召しを更に良く理解し、認識することができるようにお助けする意図をもって記されたものです。

著者

教える秘訣 小学上級科編 目次

序	1
第一章 教師の責任	1
第二章 生徒をよく知ること	17
第三章 科を知ること	33
第四章 教室展望	45
第五章 学課の準備	59
第六章 変化に富む教え方	77
第七章 授業における生徒の用い方	97
第八章 生徒の啓発	111
第九章 生徒の獲得と維持	125
第十章 自己評価	143
訳者あとがき	151

第一章 教師の責任

ブラウン夫人は、午後のPTAのためのテーブル飾りを持って、大きな小学校へ行く途中、心配そうな顔つきをした校長に呼びとめられました。

「ブラウンさん、お目にかかれてよかったですよ」と校長は言い出しました。「うちの六年生の教師が今日、顔を見せなかったのです。そのクラスをあなたが受け持ってはくださらないかと思いましたが。その教師が使おうとしていた教材はここにありますよ」。

ブラウン夫人は、抗議したにもかかわらず、教室一杯の六年生たちにあいさつをしに追いやられるはめとなりました。夫人は訓練も受けておらず、勉強もしていませんから、その子供たちに対しては全く何の準備もありませんでした。

この話は本当でしょうか？ もちろん本当の話ではありません。公立学校の教育を未経験の人にゆだねようとする学校長はいませんし、またゆだねることはできないのです。

しかし大変悲しいことに、この話は多くの日曜学校での真実なのです。よくこんなことが起こります。成人科に出席しようとその建物には行って行った人が突然、校長にかまります。校長はこの新しく登録した「教師」に無理やり、いつもの受け持ちの教師が来ていないクラスの責任をもたせるのです。

しかし、実際どちらの方が重要なのでしょうか？ この世の教育でしょうか？ それとも霊的教育でしょうか？ この世的教育はきわめて重要ではありませんが、その教えの数々は滅びていくのです。霊的教育だけが、永遠に残る真理を教えます。子供は公立学校で、ある科目に落第しても、有益な市民になるかもしれません。しかし、キリストを救い主として受け入れるのに失敗する子供は永遠に失われるのです。

もし、よく訓練された資格が充分にある教師が必要だとするなら、それは生徒たちの魂がかかっている日曜学校においてこそ必要なのです。

資 格

一、霊的資格

小学上級科の教師は霊的真理を教えようとしているのですから、その第一の資格は本質的に霊的なものです。

1 教師はクリスチャンでなければならぬ

教師は、救いについて、また主イエス・キリストについて、深い知識を持っていなければなりません。個人的にキリストを救い主、また主として受けいれていなければなりません。クラスを教えるということは、教える人自身が強められる奉仕の手段ではありませんが、普通には、回心したばかりの人をそのような責任ある地位につかせるべきではありません（テモテ1三・六）。そのような教師がもし見いだしたばかりの信仰からそれるなら、その結果は、生徒たちにも大きな損害を与えるものとなるからです。

2 教師はみ霊に満たされているべきである

あるいは教師はみ霊に満たされようとして求めている人であるべきです。多くの教会が、日曜学校教師は皆、み霊に満たされた人であるべきだと要求しています。これは最も望ましいことではありませんが、必ずしも可能ではありません。しかしながら、少なくとも聖霊に満たされるということに、精力的、かつ活動的に関心を持っていない人は日曜学校教師になるべきではありません（使徒一・八、二・三八、三九）。

3 教師は言行一致した勝利のクリスチャン生活をしていなければならない

小学上級科の生徒たちは英雄崇拜者です。小学上級科のレベルでは、生徒と教師の間に親しい関係が育ちます。ですから、教師の生活が生徒たちにとって良い模範となるような生活であれば、この親密さは望ましいものです。しかし、言葉と行ないが矛盾する時には、その教師は無意識のうちに、生徒たちの霊的

成長をだめにするかもしれません。小学上級科の教師である時ほど、「わたしが弟の番人」^{〔注1〕}であるという事実が明白になる時はありません。

〔注1〕創世記四・九のカインの言葉から取った教え。

4 教師は出席と時間厳守という点において信頼に足る人でなければならぬ

信頼に足ることが霊的な資格でしょうか？ 聖書はそうだと教えています。コリント人への第一の手紙第四章二節にこう記されています。「この場合、管理者に要求されているのは、忠実であることである。」確かに、日曜日に出て来なかったり、いつも遅刻して来たりする教師は、その手にゆだねられている小学上級科生徒の魂を管理する務めに、忠実であるとは言えません。もし教師がやむをえず欠席しなければならぬなら、緊急事態でもない限り、遅くとも前の日曜日のうちに校長に知らせるべきです。遅刻の常習犯には良い弁解の言葉など全くありません。

二、身体的資格

ある基本的な肉体的資格が、小学上級科生徒の教育には必要とされます。こうした資格の幾つかは自分たちで発達させることのできるものです。

1 清潔で気持ちのよい外観

生徒たちは、教師がどんな装いをしているか、顔は洗ってあるか、髪はとかしてあるか、ということに気がつきます。上着がしわくちゃで、だぶついても、生徒はすぐに気がつきます。明るい陽気な顔色にも気づきます。そして、このような外面的なこと、教師に対する生徒の意見が形づくられるのです。

2 快い話し声

低い快い声はかん高く薄っぺらな声よりもはるかに効果的です。しばしば、物の言い方は話の内容と同じ位重要なのです。快い話し声は訓練できるのです。あなたの声を調節してみてください。アメリカ人は単調に話し、たとえばイギリス人やフランス人よりも唇を動かさないという傾向があります。ハムレットからヒントを得て、言葉が「舌の上で踊るように」話してごらんください。確かにハムレットなら、現代の多くの日曜学校教師の代わりに、町を呼び歩く物売りに話をさせたことでしょう。

3 知的機敏さ

小学上級科の教師は、質問に答え、生徒たちが持つと思われる問題を取り扱うことのできる知的能力を持っていないけません。そして学科を適当に計画し、準備するだけの頭脳がなければいけません。もし、この最低限の知的能力を持っていないなら、その人は、教えること以外の何かほかの分野でキリストへの奉仕の場所を見つけるべきです。

4 感情的安定

すぐに怒り、批判をがまんできず、他の人人が自分を利用していると想像し、常に自分の権利を擁護しようとしているような人は、感情的に成熟していません。そのような人は教師となるべきではありません。小学上級科の教師には、忍耐、ユーモアのセンス、多くの愛と寛容が必要です。これらのものは、感情的に成熟した人の持っている特性です。

三、社会的資格

教えることは社会的活動です。社会的という言葉は、「互いに依存している人々の一団としての人類に關すること」と定義されています。小学上級科生徒のクラスは確かに「互いに依存している人々の一団」です。他人のことを考え、他人を動かさなければならぬ、いかなる活動においても、教師は社会的責任を持っていますし、またそれだからこそ、社会的資格が必要なのです。

1 協力を得る能力

教えることは、ただ単に生徒たちに向かって話すことだという考えは、真理から遠くはずれています。教師は小学上級科生徒の心を、教師が願っていることをするように動かさなければなりません。また生徒が自分自身で考え、行動するように刺激を与え、励まさなければなりません。生徒をいらだたせたり怒らせたりする教師は、一つの大切な能力、すなわち協力を得るといふ能力が欠けているのです。小学上級科

生徒と同じように考えようと努力をする、礼儀正しく親切な教師なら、容易に生徒の協力を得られるでしょう。生徒たちに訴えるような方法で提示された考えは、すぐに生徒に受け入れられます。小学上級科の子供たちは熱心で、幸福で、熱中します。彼らの年齢は、励まして行動を起こさせるのが一番やさしい年令層なのです。

2 他の人と共に働く能力

教師は、他の教師たち、同じ科や日曜学校全体の職員たち、生徒の親たちなどと一緒に活動しなければなりません。教育のこの多面性は、物事を異なった観点から見ると人と接触する機会を絶えずもたらします。教師は、他人の意見に耳を傾けることができるほど礼儀正しく、科が自分の好まないことをすると決めた場合にも、多数の意志に服従できるほどやさしく、また物事が自分の望みどおりにいかない時にも黙していられるほど賢明でなければなりません。ほがらかで、人を励ますような個性は、科全体の士気を大いに高めるでしょう。そのような個性をつちかいていく教師は非常な祝福となるのです。

四、専門的資格

専門的資格は、教師が時間と努力を費やさずすれば得られます。教師は職員の会議や教師の集会に出席しなければなりません。また、宗教教育あるいは世俗の教育原理に関する書物を少なくとも一年に四冊

は読むべきです。更に少なくとも一年に一コース、教師訓練の講座を受けるべきです。

1 小学上級科の子供の心を理解すること

もし教師が小学上級科の子供を捕えたいと思うなら、小学上級科の子供はどのように物事を考えるのかを理解しなければなりません。児童心理学の教養や知識は何もなくとも、教師はただ、子供たちと一緒に時を過ごすだけで、すばやく、大切な情報を得ることができません。クラスを遠足に連れ出したり、生徒一人一人の家を訪問したり、教会で奉仕の働きをしながら、子供たちの言うことに耳を傾けて下さい。そして彼らの関心を引くもの、彼らの話し合うさまざまな話題に注意することです。彼らが興奮するものを調べて、来週の学課の資料をそういうものに関連づけるように努めて下さい。また、子供たちの弱さと誘惑の範囲に気をつけます。立ちどまって、よく見て、子供たちの言うことを聞いてごらん下さい。そうすれば、彼らの考え方が明らかになり、筋の通ったものになってくるでしょう。いろいろな点で、小学上級科の子供たちの行動は予測ができ、一貫しているのです。だれでもそうですが、彼らも、注意していれば成長していくのです。そのように子供たちに注意を払って下さい。

2 教える原理を理解すること

良い教師は生徒に学ぶことをさせるのです。ですから、教えるということを理解するために、私たちはまず、学ぶということを定義しなければなりません。習得とは、ある人のした経験のゆえに、その人の人

生の中に起こる変化であると定義できるでしょう。もし、生徒の生活の中に何の変化も起こらないならばその子供は学ばなかったのです。教えるということは、目ざしていたことが習得できるように活動へ人を導いていくことです。このようなわけで、教師は、生徒の生活の中に望ましい変化をもたらすような活動の中へ、生徒を導き入れなければなりません。教える原理に関する更に詳しい論議はあとで出てきます。

3 自分の科目を知ること

職業的な一般の教師は自分の教える科目を知っています。日曜学校教師も、自分の教える科目、すなわち神様のみ言葉を知らなければなりません。学課の学びの有益な助けは小学上級科教案によって与えられますが、日曜学校教案は、教える教材の最初の資料にすぎません。教師は、聖書、コンコルダンス、聖書語句辞典、聖書辞典、聖書注解書、聖書地図、小学上級科用視覚教材、日曜学校カウンセラー、「教える秘訣」(本書)、マイヤー・パールマン著「生徒の研究」、D.V.ハースト著「彼は教師をお立てになつた」及びマイヤー・パールマン著「日曜学校教授法」^[注2]を備えるべきです。これらの書物全部が教師には絶対必要です。おそらく教師はこれを全部すぐに手に入れることはできないでしょうが、少しずつ集め始めることはできるのです。これらの蔵書が教師をその科目にさらに精通させて、より良い 師にしてくれるでしょう。

態 度

「あの人は立派な働き人ですが、わたしはあの人の態度が好きではありません」。こんな批判があまりにもしばしば耳にはいります。産業界においても、有能な労働者たちが、悪い態度をとることによって出世を押しえられています。雇主は従業員から何を期待するのでしょうか？ 小学上級科の主任は教師にどんな態度を求めているのでしょうか？ 雇主も主任もどちらも不可能なことを期待しているのではありません。彼らはただ、自分の仕事に対して積極的で、素直な態度の人をほしがっているだけなのです。教師にとって重要なことは、何かを行なうことよりも、それを行なう時の態度なのです。それはどんなすぐれた言葉よりもはるかに、生徒たちに強い影響を与えるでしょう。では、正しい態度は何によって育てられるのでしょうか？

一、この仕事の重要性を知ること

自分の仕事が世界中で最も重要だと感じている小学上級科の教師は、正しい態度を示すでしょう。さら

に、正しい態度は、神様の真理を教えるという偉大な仕事に対する適正な見解をはぐくみます。神様の真理を教えることこそ私たちがなしうる最も重要な働きなのです（マタイ二八・一九、二〇）。これより大きな働きが他にあるでしょうか？ イエス様は、この働きをして、その全伝道生涯を過ごされたのです。

二、小学上級科の子供たちを愛すること

「うちの生徒たちにはがまんできませんよ」とある教師が言いました。その生徒たちも教師に対して同じように感じていたのです。教師は教える技巧にはひいでていても、生徒たちを愛するようになるまでは本当に教える、ということはできません。自分の生徒たちに対して関心を持たない教師は、神様の前にひざまずいて自分の欠けたところを告白し、心を生徒たちに対する愛であふれさせてくださるようにと求める必要があります。

三、子供たちを尊敬すること

小学上級科の教師は生徒たちより身体的に大きいのです。この大きさの違いのおかげで教師は子供たちを支配できます。ある公立学校の教師が子供たちに「わたしは、あなたがたみんなをペロペロなめること

だっでできるのよ」と言つて、新学期を始めたということだ。そんな人は決して教師になるべきではありません。眞の教師は生徒たちを尊敬します。そして生徒を自分と同等の者として扱い、礼儀と親切さを示すのです。

四、公平かつ公正であること

えこひいきをする教師は、助けと注意とを必要としている子供たちを無視し、「先生のお気に入りに」対して不公平なことを行なうのです。神様は人を片寄つて見ません。生徒たちに対して神様を代表している教師は、えこひいきをしている余裕などありません。最も好ましくない子供が、後の生涯において、神様のために最も価値ある働き人になることもしばしばあるのです。すべての生徒たちを公平、かつ公正に扱うことによつて、教師は、怠慢と偏愛の落とし穴を避けるべきです。

五、實際的であること

「あの人は非常に天國的な気持ちの人だからこの世的にはだめだ」。この短い表現は眞理を含んでいません。もし小学上級科の生徒が神様や、クリスチャン生活について何かを学ぼうとしているなら、教師はその子供の理解できる、實際的なこの地上的な用語で、それを表現して聞かせなければなりません。靈的眞

理を日常の言葉で表現できない教師は、神様のために日常のわざをあまりしていないのでしよう。

六、誠実であること

この誠実さには、教会のあらゆる活動を忠実に支持するということが含まれています。小学上級科の教師は、日曜日朝の礼拝、夜の伝道会、そしてすべての週間の集會に出席しなければなりません。人生のあらゆる面で、子供は、教訓と実例によつて学びます。生徒は自分たちの教師が、忠実に教会を支えているか、それとも無視しているかを見えています。生徒たちに対して誠実である教師は、自分の教会にも誠実でしよう。事実、キリストへの忠誠はあらゆる事を包括するものであり、教師をして人生のあらゆる面において忠実な者とさせていくのです。

七、忍耐強いこと

生徒たちを忍耐強く取り扱う秘訣は、適当な準備と休息です。心配し、悩みながら日曜学校にやってくる教師は、いともたやすくいらだち、ぶっきらぼうになつてしまいます。子供たちは愛には極度に敏感に応じてきますが、教師がとげとげしく批判的である時には、引き下がつてしまうものです。大抵の生徒は自分たちの教師を喜ばせたいのです。この事実を眞理として受け入れる教師なら、容易に忍耐を働かせる

ことができるようになるでしょう。

八、祈りと献身の人であること

日曜学校教師の資格と態度として今まであげてきた基準を全部満たそうと、良心的に努めている人々は、これは不可能だと言って失望的になるかもしれません。しかし教師は、自分が神様の御働きの中にあるのであり、神様が請け合って下さるのだということを心にとめなければなりません。今までも神様のために成功した働きのかげには、常に聖霊の力があるのです（ゼカリヤ四・六）。教師の生涯における聖霊の臨在のかけには、神様が望んでおられる通りの人物になろうという教師自身の深い献身があるのです。

A・W・トーマスは、霊的力を得るための五つの誓いを掲げました。

1、あなたの生活の中にある罪を徹底的に処理しなさい。罪を処分する場所はイエス・キリストの血潮のもとであって、心の奥底に見えないように隠すものではありません。

2、いかなる物も所有してはなりません。物質的なものを得たり、あるいは世間的に有名になることによって、キリストのためにするあかしの喜びがしばしば失われてしまいます。すべてをキリストにゆだね

てしまった人は、大きな責任の重荷が自分の生涯から取り去られたことに気づき、主イエス・キリストとの関係の中に新しい喜びを見いだすことができます。

3、決してあなた自身を擁護してはなりません。クリスチャンはキリストに仕えるのです。神様は神様のしもべたちを十分に擁護することがおできになります。

4、だれについても、その人を傷つけるようなことを言いふらしてはなりません。教師全員がこの規則を守っている日曜学校には大きな霊的力が働いているはずです。うわさ話、陰口、にがにがしい思いなどは、クリスチャンから霊的な力を吸い取り、生徒たちの中に同じような反応を育てます。生徒たちは底流となって流れている敵意をたちまち探り出すのです。

5、どんな誉れをも決して受けてはなりません。キリストのために何かが成し遂げられるなら、キリストが栄光をお受けになるべきです。賢明な教師は、誉れを受けることを最後の審判の時まで待つのです。クリスチャンの奉仕者は自分のしたわざが、だれにも気づかれないうちまで終わるのではないかなどと心配する必要はありません。キリストは忠実な方です。必ず報いて下さるでしょう。

小学上級科クラスを教えるという特権を持っているクリスチャンは、「他の人々の人生を形づくるための自由な人格的力」として、人生を用いる機会を与えられているわけです。ですから、できる限り最善を尽くしてすぐれた教師になる責任があります。人はだれでも、どこかに限界がありますが、キリストの望んでおられることは、各人を完全に向かって進み行かせるところの誠実な献身なのです。

問 題

- 一、教師の靈的な資格はどのようなものですか？
- 二、言行一致のクリスチャン生活をする必要性がなぜそんなに大きいのですか？
- 三、すぐにかんしゃくを起こしたり、批判に耐えられなかったりする人の根本的な問題は何ですか？
- 四、どのようにして教師は子供たちの考え方を理解できるでしょうか？
- 五、習得（学ぶということ）を定義しなさい。
- 六、正しい教える態度を作り出す助けとなる五つのこととは何ですか？

第二章 生徒をよく知ること

困惑した教師が小学上級科の教室へはいつてきて、ふたりの少年が乱闘しているのを見つけました。そしてすばやくクラスを静め、ビルをつかまえて聞きました、「だれがこれを始めたのですか」。

ビルはとがめるようにジミーを指さしました。「えーと、ジミーがぼくをなぐり返した時に始まったんです」。

小学上級科生徒の意気込み、精力、それに持ち前の熱心さは時折「乱闘」となって爆発するのです。幸いなことに、こうした爆発は日曜学校ではめったに起こりませんが、小学上級科の子供たちと共に暮らしたことがある人なら、けんかはやはり起こるものだと知っていることを知っています。

ある人が、この年令の生徒の特徴を四つの言葉で表わしました。これは小学上級科の子供をかなり正確に描写しています。

四つの言葉とは、

けんか

恐れ

ゆるし

楽しさ です。

あなたの受け持つ小学上級科の生徒たちは、九歳から十二歳の年令で、学校では四年生から六年生までです。この年令の子供の特徴を研究することは重要です。というのは、生徒をクリスチャン生活と、成長へ、よりよく導くことができるように教師を整えてくれる知識を得ることは価値ある時間の投資だからです。ある教師は事態をこう表現しました。「あなたは、子供たちを永遠に対して備えさせるのに一週に四十五分しか時間を持っていないのです」。幸いなことに、多くの日曜学校教師は、一週に四十五分以上の時間を生徒のためにさくことができます。いろいろな活動や訪問によって、教師たちは、より一層長い時間、感化を与えようと努めています。しかしその時でさえも生徒各人との直接的接触は、あわれなほど短いのです。しかし、小学上級科の子供を知り、理解することによって、おのおの教師は、短い時間をもっと効果的に用いることができますようになります。

個人的な相違

「典型的」な小学上級科の子供などというものは、実際は架空の人物です。なぜなら、どの子供も、世界中の他のだれとも少しは違っている個人だからです。私たちは、平均的な子供の行動と発展の中に現われている一般的な特徴を学びますが、こうした記述によって彫刻されたくぼみにびったりとあてはまるような生徒は、クラスの中に一人もないことを、心に留めておかなければなりません。

一、身体的欠陥

個人的相違の一例として考えられるのは、身体的にハンディキャップを負った多くの子供たちです。いわゆる「典型的な」子供たちに関する私たちの描写は、そのような欠陥には少しもふれていません。しかし、一団の教育者たちによって行なわれた米国カンザス州の調査は、子供たち全員の五・九パーセントがどこかに身体的欠陥があることを示しました。言語障害、視覚障害、整形外科的欠陥が最も一般的でした。こうした障害のため、その子供たちは、同年輩の正常な子供たちと同等に、重要な活動に参加することができない状態でした。

平均的小学上級科生徒の研究がなし得る最大の貢献は、教師に、参考資料を提供するという事です。これに照らし合わせて、教師は、自分のクラスを構成している個々の子供たちへの自分の近づき方を評価することが出来るわけです。

二、文化的・社会的及び宗教的相違

個人的相違はまた、生徒たちの文化的、社会的及び宗教的背景の相違から起こります。最近の研究は、家庭と学校における微妙な条件が、成長率や、生徒の最終的に到達する知的水準に影響することもあると暗示しています。確かに、こうした分野における相違は、霊的な事柄に対する生徒の態度に影響してきます。ある生徒が「聞き耳をたてている」のに、ある生徒は「聞こうとしない」時には、その理由はおそらく、教室の外の何かの原因にまでさかのぼっているのです。クリスチャンの家庭から来ている生徒と、両親が霊的訓練を何も与えてくれず、経済的にも不安定な家庭の生徒から、同じ反応を期待できるでしょうか？ それなのに、教師は、自分のクラスの生徒全員を、同じ型にはめてみようとする事が、何と多いことでしょう。

ひとりのローマ・カトリックの家庭の少女が救われました。しかしその結果、この子供は、クリスチャン生活に順応するために、他の子供たちが経験しなかったような、カトリックの習慣からぬけ出すための

多くの問題にぶつかったのです。ですから個人的相違を認めながら、なお不公平を避けることのできる教師はすぐれた教師だと言えましょう。

生徒たちの間にいろいろな相違はありますが、一つの共通の事が、彼らの全経験を貫いています。それは、彼らが何か大きな不幸のがけのふちで揺れ動いている社会と文化の中に、生きているということです。もし、歴史を参考にするならば、真のリバイバルが人々を捕えない限り、この国はまさに道徳的崩壊にひんしています。

一七八八年、エドワード・ギボンはその著「ローマ帝国衰亡史」を完成しました。その中で彼は、あの強力な国家の没落の原因を五つ列挙しました。ローマ人たちの直面していた状況と、今日私たちの目の前にある状況との間に非常な類似があることに気をつけて下さい。

- 1 離婚の急速な増加、すなわち、人間社会の基礎である家庭の尊厳と神聖さの破壊
- 2 ますます高くなる税金と、下層階級に与える無料のパンと競技場のために公費を使うこと
- 3 快楽への狂気じみた熱中、年ごとに刺激的かつ残酷になっていくスポーツ
- 4 真の敵は内部にいたのに——すなわち民衆の墮落のこと——巨大な軍備を整えたこと
- 5 宗教の衰退、単なる形式になりさがり、命との触れ合いを失い、民衆を導く力をなくしていく信仰

エドワード・ギボンがあげた、ローマ没落のこの五つの原因は、小学上級科クラスの全教師に、多くのことを語ってくれるはずです。更に今は悪い時代なのだから、時を生かして用いるようにと教師を励ましてくれさせるのです。教師は、すべての生徒を、主イエス・キリストを知る救いの知識に導くことによって、道徳的及び靈的価値の崩壊から救い出すように努めるべきです。

三、テレビの影響

この年令の多くの日曜学校生徒がテレビを見ております。ですから小学上級科の教師はテレビが生徒たちに及ぼしている影響に気づいていなければなりません。

三百人の大学生が七つのロスアンジェルス局のモニターを二日間にわたってつとめ、彼らの見たものを報告しました。二日の間に彼らはこれだけのものを記録しました。

七八八八回のコマーション

三九六九回の暴力行為

七八四回のアルコールを飲む場面

二五八回の物件破壊行為

一〇八七回の暴力あるいは殺人未遂行為

これに加えて「Teachers College Record」(教育大学記録)誌には「どの心理学が信頼できるか」という報告が載っています。これには、テレビを見るのが、最も多く報告される小学生の活動であり、公立学校のためにさかれる、週間の時間数と同じ位の時間——学校出席のために自発的にささげられる時間よりはるかに長い間——をテレビがとっていることが述べられています。

小学上級科の教師は、欲望を人工的に養い育てて、子供たちの行動に影響を与えずにはおかないテレビを見過ぎている生徒たちを目の前においているのです。生徒は、テレビの画面で見えるものによって、「ひどく人工的であり、無責任や非行につながる危険性のある」、^[注1]刺激的な影響を受けているわけです。ここにあげた言葉は、教師ではなく、教育者が言っているのです。

[注1] Pressey, Sidney L.; Robinson, Francis P.; Horrocks, John E. Psychology in Education, New York: Harper & Brothers, 1959. p2)

両親がテレビを見ることを調節してくれる生徒たちと何の制約も受けない生徒たちの間には、大きな相違ができてくるでしょう。効果的に教えたいと願う教師は、これらの相違をも考慮しなければなりません。

特 徴

私たちは個人的相違という分野を手短に述べてきましたが、なお、小学上級科の生徒を理解しようとする際の、基準となる、経験で得た大ざっぱな標準を必要とします。次にあげた多くの特徴を注意深く読んで下さい。その中に、あなたのクラスの子供たちを理解するのに役立つ道しるべがあるでしょう。

一、身体的特徴

小学上級科の子供は精力にあふれ、しばしば荒々しい態度をとります。九歳から十一歳までの間は、普通、身体的成長の緩慢な時期です。九歳の男子は平均して体重二六・七キロ（二七・八キロ）身長一三二センチ（一三〇・五センチ）十一歳の男子は平均して体重三一・三キロ（三三・二キロ）、身長一四〇センチ（一三九・七センチ）、九歳の女子は体重二五・八キロ（二七・四キロ）身長一三〇センチ（一三〇・一センチ）十一歳では三〇・四キロ（三四・八キロ）、一四〇センチ（一四一・七センチ）です。^{〔注2〕}

〔注2〕（）内は四年生と六年生の日本全国平均値（昭和四三年度）

子供たちは、思春期のような、急激に成長する期間に、一番動揺することを、いろいろな研究が示して

おられます。こういうわけで、小学上級科の子供は、自分自身とも、また世間とも、比較的平穩無事にやっています。このあとで、手に負えない、十代の子供たちに特有の特徴と行動とが現われるようになります。こうした行動の問題の多くは、子供の急激な成長にその原因があるのです。

賢明な教師なら、小学上級科の生徒たちの体の大きさの違いについては、ほとんど、あるいは全く、ふれないでしょう。「お友だちに追いつくように」と沢山食べた方がいいですよ」などというのは、無思慮で不親切な言葉です。子供一人一人を、あるがままに受け入れ、その子の価値と素質とを知るようにし、全部の生徒を同じ身長、同じ体重にしようとするなどは忘れる方がよいのです。

健康であるということは、小学上級科の子供の特徴です。この年令の子供は他の成長段階にある子供たちよりも、病気にかかりにくいのです。この時には大抵、子供時代の病気は通り抜けてしまっています。つまり、既にそういう病気にかかったことがあるか、あるいはそれらに対する抵抗力をつけてしまっているわけです。

小学上級科の子供の、成長の途上にある筋肉は、活動とはなはだしい運動を要求します。ですから子供はそういうものに熱狂的に反応を示します。走ること、跳ぶこと、活動的な動きを必要とするゲームなどは男の子にも女の子にも人気があります。

二、知的特徴

小学上級科の子供は新しい自尊心を持つようになります。そして真実の努力を必要とする、学校教育を受け始めます。又、公立学校のしつけ上の要求には慣れてきます。まだ、時間と空間の関係についてはよく理解できませんが、地理と歴史を少し習い始めます。しかし小学上級科の子供の、時間と空間の観念を理解する能力がどんなに限られたものであるかを悟っている教師は少ないようです。「社会教育」誌の中に興味深い報告が載っていました。それによると、さらに年上の生徒でさえ、この問題に苦しんでいることが示されています。たとえば、ある中学二年生たちは次のような間違った考えをもっていました。(1)地球の半周は百万マイル(百六十万キロメートル)である(本当は一万二千マイル(一万九千キロメートル)である)(2)アフリカの北西海岸と南アフリカの北東海岸は百マイル(百六十キロメートル)しか離れていない(一番近い点で、千五百マイル(二千三百キロメートル)ほど離れている)。(3)中国は五十億以上の人口を持っている(これは世界の総人口よりも多い)。(4)クリストファー・コロンブスは六百年前にアメリカを発見した(一四九二という年代がすべての人の頭にこびりついているべきである)。

小学上級科の子供には考える機会が必要ですし、また、実際に考えるのが好きです。特にいろいろな物事を知りたがっています。ですから勧められれば、いろいろな質問をするでしょう。また、注意力を二十分間は集中していることができます。このことは、小学上級科の子供は、四十五分の授業時間中ずっと一

つの講義を聞いていることができないので、教える方法に変化が必要であることを指摘しております。

この年令の子供は英雄が大好きですし、また聖句をたやすく暗記します。更に、熱心に読書をしませんが、クリスチャン生活の励ましとなるような読み物を読むように指導してあげるべきです。

小学上級科の子供は活発な想像力を持っており、実際の出来事や実在の人物についての話が好きです。また、幅広い好奇心を持っておりますから、教師はそれを用いて、関心と注意を引くようにすることができきます。

三、社会的特徴

小学上級科の子供は、今までの想像と作り話の世界から、有益な目的のある活動の世界へと移っていくところです。小学下級科時代の「孤立主義」から離れて他人と協力して物事を行なうようになります。強い協同精神を持っておりますので、コンテスト、賞、表彰、その他の競争的な活動には容易に動かされていきます。

小学上級科の子供たちは親しい友だちを持っていて、多くの時間を友だちと過ごし、また秘密を分かち合います。ですからこの時代は、良い友を選ぶことの大切さを教えるのに重要な時代です。

子供たちはクラブが好きで、高い理想やキリスト教的原則を表わしている標語を喜びます。しかしクラ

ブは長続きしません。そして、自分がそのクラブを始めた本人であっても、すぐに、これからあれへと移っていきます。しかし、自分のクラブ活動に対する指導と目標を好みます。クリスチャンの奉仕グループには、真心から応じ、自分がだれか年上の人を助けたというのを非常に喜びます。

小学上級科の子供は友だちが好きですが、また父親と母親も好きです。ですからこれは、子供にその両親を学校活動に引き入れるようにさせる大切な時期です。両親が出席しているのを見て子供たちはうれしく感じるのです。

四、靈的特徴

小学上級科の子供は、神様に対する自分の責任を認めること、ある事柄を罪とすること、また、真の救いを体験することなどができます。キリスト教の原則を自分の生活のあらゆる面に適応するという点では、まだまだですが、罪意識、告白、回心などについては理解することができます。

子供たちは単純な信仰を持っていて、キリスト教信仰の事実と教義を、青年たちがするように、疑おうとはしません。小学上級科の子供の奥深くには神様に対する飢えかわきがあるのです。確かに、すべての人の奥深くにはこの飢えかわきがあります。子供の中では、この飢えかわきは一層明白で、誤まった決心や虚偽の衣の下に隠されているようなことはありません。

小学上級科の子供は、聖書を読むこと、祈ること、あかしすることなどを日常の習慣とすることができ、ます。ある十一才の男の子は、聖書を完全に読み通しました。それからこの少年は神様のみ言葉を読むことを習慣として実行し始め、今日では三十七回も聖書を読み通しています。

小学上級科の子供たちは、救いを受けるえり抜きの候補者です。子供たちが成長すればするほど、主イエス・キリストに導くのは難しくなるでしょう。小学上級科の時代は、生徒が難しい青年期に達しないうちに、神様に導くべき重要な時なのです。

「青年をキリストへ」誌が、二千人近い十代の若者たちの調査をしました。その時三十七パーセントの人が、キリストをもっと早く受け入れなかったのは、その機会を与えられなかったからだと言っていました。小学上級科の日曜学校教師は、これらの若い人々が小学上級科の生徒だった時に、キリストに導くというすばらしい機会を利用しそなかったのでしょうかという疑問が頭に浮かんできます。祈り深くエゼキエル三三・八を考えて下さい。キリスト教的基準が小学上級科の子供の心に刻みつけられることは可能です。子供たちは、クリスチャン生活をするためには、ある事柄を自分で禁止しなければならぬということを理解できます。しかし、クリスチャンの歩みは、単なる「……すべからず」の連続だと考えないように、教師は気をつけなければなりません。

「ぼくは盗みをしたくないし、人をだまさないし、うそもつかないよ」とある少年は言いました。その少年は、

しなかったことが多ければ多いほど、靈的なだと考えていたのです。フィンドリ・B・エッジ博士は、「悪くないこと」を「良いこと」と同一視することはできないことを示しました。母親がむすこに向かって「良い子でいなさいね」と言う時には「悪さをしてはいけませんよ」という意味なのだ、と博士は述べています。悪くないことは、否定的特質の欠如であり、一方、良いということは肯定的特質の実在を意味します。E・M・ライゴン教授は悪い方をマイナス一〇、良い方をプラス一〇で表わした、道徳的及び靈的善の尺度を提案しています。真中にはゼロがあります。悪くないということは、零点となります。これは、なぜ新年の初頭に心を入れ替えることだけでは不十分であるかを示しています。もしある人が、今、罪を犯すのをやめて、生きている限り二度と再び罪を犯さないのであれば、過去の罪のゆるしに加えて、すべてのクリスチャンの生涯に、聖靈の積極的な働きを与えて下さいます(ロマ六・二三、八・三四、ヨハネ一・九)。

小学上級科の子供たちの特徴を理解することは、より多くの寛容と愛をもつための基礎をすすめるために重要なことです。思いやりや愛があまり表現されない家庭から来る子供たちは愛情を必要としていますが、献身的な日曜学校教師はそのような子供のもう一人の

+10

+5

0

-5

-10

良い

悪い

「親」になれるのです。

小学上級科の子供は、その身体的特徴のゆえに、多くの運動と活動を好みます。

また知的特徴のゆえに、聖句を非常に沢山暗記することができます。

その社会的特徴のゆえに、同性の仲間たちと一緒に居たがり、異性には同情的な理解や寛大さを示すことがほとんどありません。

その靈的特徴のゆえに、小学上級科の子供は、主イエス・キリストを受けいれるという、生涯変わらない決心をすることができます。

問 題

- 一、小学上級科の子供の特徴の研究がなぜ重要なのですか？
- 二、小学上級科の生徒たちの中に個人的な相違を引き起こす三つのことをあげなさい。
- 三、どんな点で、私たちの社会は、没落当時のローマの社会に似ていますか？
- 四、普通の小学上級科の子供の生活の中でテレビはどんな役割りを演じていますか？
- 五、小学上級科の子供にとって、注意を集中していられる最大限の時間はどれほどです

か？

六、小学上級科生徒の社会的関係は下級科生徒と比べてどのように違っていますか？

七、「良い子であること」と「悪い子でないこと」とはどう違いますか？

第三章 科を知ること

日曜学校の先生が、一本の細い糸を十歳になるジヨニーの両手首に巻きつけて、「さあ、切って御覧なさい」と言った時、少年は自信ありげに微笑しました。ジヨニーは簡単にやっつてのけました。しかし、二、三分たつと、ジヨニーの顔の表情は変わっていました。一本の細い糸の代わりに、先生は何十本もの糸の束を少年の両手首に巻いていたのです。ジヨニーは力一杯切ろうとしましたが、その細い糸の結び合わさった強さには勝てませんでした。

ジヨニーは、多数の中には強さがあるという重大な教訓をここで学びました。この教訓は、小学上級科及び、それと同様に、日曜学校のすべての科の重要性を、私たちに示しております。イエス・キリストのために、人々の人生に影響を与えるという偉大な働きに共にたずさわっている多くの教師たち、働き人たちの結合した努力の中には、力があります（マタイ一八・一九）。献身的なクリスチャン教師たち、働き人たちの、この助け合いは、サタンの手を縛り、一人の努力が達成できる事よりもはるかに多くの事をキ

リストのために成し遂げるのです。神様はそのような一致した努力を望んでおられます(コリント・11・10)。

このように、あなたの参与しようとしている科を眺めるのは大切です。私たちはその機能、組織、日曜学校全体との関係などを調べてみましょう。

機 能

一、生徒の必要を満たすこと

日曜学校、及びその中のどの科でも、その基本的目的は、生徒たちの霊的な必要を満たすことなのです。小学上級科の少年少女たちは、彼らの生涯の中でも最も感受性が強く、大切な時期にあるのです。ですから、小学上級科は、日曜学校の最も重要な科の一つです。小学上級科の生徒は霊的に何を必要としているでしょうか？ここに基本的な霊的必要をあげておきます。

- 1 小学上級科の生徒は、イエス・キリストを救い主と主として受け入れることが必要です。
- 2 聖霊を受け、自分自身を聖霊の油注ぎにゆだねることが必要です。
- 3 聖書及び聖書の真理と教理に関する知識を得ることが必要です。

4 神様への奉仕に献身することが必要です。

5 日ごとに、より実り豊かなクリスチャンとなるために、霊的に成長する方法を知ることが必要です。

6 協力による奉仕の重要性を理解し、教会の集会と伝道に活発に参与することが必要です。

7 人生に対する正しい態度を養うことが必要です。

小学上級科のすべての活動は、何らかの方法でこれらの基本的必要に貢献しなければなりません。その場合、科の活動を与え、指導する人々の任務は、教室の中で、生徒たちを教える教師の任務と同じように重要なのです。

二、同じような特徴、興味及び理解力を持った生徒たちをグループにすること

教会に、適切に組織された小学上級科がある場合には、同じような興味、同じような理解力の水準をもった生徒たちが一つにまとめられます。そのように組織された科は、生徒たちの必要に一層効果的に応じることができます。日曜学校全体のために始めの礼拝をしなければならず、小児から成人の水準までのすべての生徒に興味あることを話さなければならないような、小さい教会の働き人は、それぞれの年令別の

科を持つことの重要さを痛感しております。

設備や人員の制限が、科別の組分けを当座は不可能にするかもしれませんが、もっと多くの部屋と、充分に訓練された働き人を備えようという計画は立てられますし、また立てるべきです。お金と時間と努力の投資は何倍にもなって返ってくるのです。

三、教室での授業に背景を提供すること

日曜学校の生徒は原則として日曜学校にはいらずに、直接自分たちのクラスに行き、教師からその日の学課を学びます。しかし小学上級科の子供たちにこれだけの事をしているのでは充分ではありません。彼らには、先生とおしゃべりをする時間、共に礼拝する時間、ささげものをするという奉仕のできる時間、科全体にわたる教育の時間、及び交わりの時間などが必要です。科というものは、各教室での授業の背景をなす、これらの重要な要素を提供すべきものなのです。

1 開校前の時間

日曜学校が始まる前に、教師たちは、この時間を用いることによって、子供たちを感化することができます。教師は、生徒たちの活動ぶりをチェックしたり、霊的、あるいは社会的問題に関して質問をもっている子供たちの相談にのったり、生徒たちと一緒に祈り会をしたりすることができます。始まる前の時間

を正しく利用すれば、教師も生徒も共に、意義深い礼拝をする心備えができるでしょう。

2 礼拝会

日曜学校の時間は、歌、聖書朗読、祈り、賛美などを含む礼拝会で始まります。この礼拝会は、秩序正しいふん囲気を持っているべきです。これを達成するためには、教師も職員も全員、遅刻しないで来て、礼拝が始まる前に、生徒たちと一緒に席についていなければなりません。教師は準備ができていなければなりません。礼拝会はその日の学課を読んでいる時間ではないのです。教師は生徒たちを神様との交わりへ導くことを望むなら、自分も同じような交わりをした上で集まってこなければなりません。礼拝会は変化に富み、小学上級科の子供に訴えるものを持ち、また統一と現実的な時間の制限を持たねばなりません。教師たちに必要な、授業時間に食い込むような開校礼拝は、目的を達成できません。教師たちは自分たちの時間がなくなっていくのに気づくと落ち着かなくなります。そして生徒たちも教師にならって落ち着かなくなるのです。

3 献金

献金は、開校礼拝の時間集めるにしても、教室で集めるにしても、個々人の奉仕の精神の表現であるべきです。そのためには、献金は、親たちからもらったものではなく、実際に子供たちが自分から出すものであるべきです。神様のみわざに参加することの尊さを強調して下さい。子供たちに教会全体の活動に

対する経済的責任を感じさせて下さい。信頼できる子供を選び、自分が持ってきたお金はどのようにして得たのかをグループに話させるのも良いことでしょう。子供たちに、献金がどのような目的に使われるかを知らせて下さい。特別な必要を訴え、明確な目標を定め、その目標達成に小学上級科がどれほど貢献したかを公表して下さい。

4 科全体の教え

開校礼拝の教えは短く、礼拝会の中心的テーマと調和したものであるべきです。教えは、さまざまな教授法、つまり、物語、実物教材、映写による視覚教材、あるいはその他の適当な方法によって、与えることができます。科の大きさ、内部の事情、照明設備などによって、一番実際的な方法が自然にわかってくるでしょう。科全体の教えと、教室での授業との重大な違いは、科の開校礼拝の中で教えがなされる時には、生徒全員が一つとなって共通の学習経験をするということです。このような時に、伝道的な信仰決心の招きをしたり、クリスチャンとしての奉仕に生涯をささげるために献身を求めたり、教室で教えられようとしている真理に備えて背景を示したりすることができます。

5、交わりの時間

科としての開校礼拝の楽しい部分は、子供たちが、他人への関心を示すことのできる交わりの時間で、この時間に、新しいメンバーは歓迎を受け、いろいろな報告があり、業績が認められ、お誕生日が祝

われ、聖書クイズのような科全体にわたる活動を行なうようにするのです。

組 織

たった二つの科しかない日曜学校では、小学上級科の子供たちは、開校礼拝を、就学前の子供たちや小学下級科の子供たちと一緒にいたします。

三つの科のある学校では、小学上級科と小学下級科が合同で開校礼拝を行ないます。

小学上級科クラスが二つある学校では、「小学上級科」という科を設置すべきです。科登録生徒数が八十名に達したら、もう一つの科を作るべきです。その場合、二つの科は年令によって分けるべきです。

小学上級科クラスが二つしかない小さな科では、一人の教師が科の主人を務め、もう一人は書記として奉仕します。しかしながらこれはただ一時的な配置にすぎません。実行ができるようになり次第、あなたの科は次に示すような組織をもつべきです。

一、科の主任

主任は、牧師、日曜学校長、及び日曜学校の代表者たちで成り立っている日曜学校の理事会（実行委員会）によって選ばれるべきです。日曜学校のすべての役員たち、教師たちは、この委員会によって承認されなければなりません。小学上級科主任は科の責任を負います。そして上級科の職員を登録して訓練し、科の月例会を計画し、上級科の開校礼拝を計画し、また司会し、訪問と教勢増加の働きを計画し、折にふれての科の親睦活動を計画し、また生徒たちの進級のための計画を立てたりすべきです。

二、副主任

もし科が大きければ、主任から多くの雑用を取り除き、また、主任が欠席の時にはその代理をするために、副主任が必要でしょう。副主任は主任によって任じられたいろいろな立場において奉仕します。副主任の務めは、主任がその責任を十分に果たす手助けをすることです。小さな学校では、教師が副主任として務めてもよいでしょう。

三、書記・会計係

〔注1〕

書記・会計係は複式記録法をよく知っていなければなりませんし、生徒の登録簿を整理し、必要なフォロ・アップの記録を準備し、お金を数えたり、しまったりし、また教材や教具を注文したりするのです。

書記・会計係は、教団日曜学校部から出ている教材で、小学上級科にふさわしいものについては全部熟知していなければなりません。

〔注1〕複式記録法（Advanced Record System）は出席、時間厳守、献金、聖書持参、予習、礼拝出席などについて採点する方法。

四、音楽係

音楽係は歌の指導者かピアニスト（オルガニスト）でよいのです。彼は毎日曜日の特別な音楽プログラム（スペシャル）の手配をしたり、開校礼拝に歌う歌を選んだり、科のオーケストラの世話をしたり、ピアニスト（オルガニスト）の出席の責任を持ったりするのです。

小学上級科の集会室は生徒一人当たり、畳一帖ほどの広さが必要です。集会室はいりやすく、外に面しており、通風、照明、暖房の設備がほしいものです。集会室の椅子は三十八センチから四十三センチ位の高さにします。部屋には六十四センチから六十九センチの高さのある書記用の机、物をしまっておく戸棚、帽子とコートを掛けるくぎ（あるいは別個になった携帯品預り室）、掲示板、ピアノ（オルガン）、讃美歌の本、譜面台（その科がオーケストラを持っていれば）、聖書朗読用の机、フランネル・ボード、黒

板、聖書、地図、聖画、国旗と教会用の旗などが必要です。

色彩を調和させ、また、あたりをいつもきれいにペンキを塗っておくことによって、小学上級科を楽しい所にして下さい。ペンキは高価ではありませんし、更に日曜学校に対する生徒の態度に著しい相違を生み出すことができるものです。ある教会には冷たく見える灰色のコンクリートの壁がありました。教師たちがそれをピンクに塗りました。その色は美学的に正しい色とは言えなかったと思いますが、子供たちはそれを、うっとりという灰色の壁にほどこした大改良だと考えたのでした。

学校全体との関係

小学上級科は日曜学校の中で最も重要なものの一つではありますが、それでも幾つかの科の一つにすぎません。それは靈的成熟への階段の一段、敬虔な成長の鎖の中の一つの環なのです。小学上級科はすぐ下の小学下級科と、上の中学科と結びついているので、これらの他の科を考えることなしには、この科の働きの完全な評価はできません。

小学下級科で過ごす間に、生徒は聖書に関する事実を知ります。小学上級科の期間にその生徒は、これらの諸事実の間の関係を理解し始めます。そして中学生になると、急速に、自分の生活の中にこれらを適

用できるようになるのです。もちろん、三つの科全部において、知り、統合し、適用するという過程の幾分かは起こってはいませんが、漸進的な成熟のせいで、生徒は通常、ここにあげた型を踏むのです。

小学上級科の生徒たちは、時々、聖書の年代記で困惑しているように見えるかも知れません。教師は、生徒たちが「ちょっとも理解していない」と感じるかも知れません。肉体的、知的及び靈的限界のために、小学上級科の子供は、自分の受け取った情報を全部、完全に結びつけ、まとめあげることがまだできないのです。早まった結論を出さないで下さい。小学上級科でなされた教育は、後になってやっと実を結ぶかも知れないのです。

一つの科から別の科へ移ることは、ある生徒にとっては困難な場合があります。これを容易にしてあげるために、進級前の学級参観を計画して下さい。小学下級科の主任と話し合って、進級する小学下級科の生徒に、進級前の日曜日に小学上級科を参観させるのです。もしできるなら、進級前の三ヶ月間に数回、参観させて下さい。参観は短く、礼拝会の時にするのです。そうすれば、実際に進級の時になっても、下級科の生徒たちはそれほど心配しなくてすむでしょう。

同じようなやり方で、卒業する小学上級科の子供たちが中学科を参観するようにさせることもできます。小学上級科の子供たちには、中学科の参観は一度で十分です。

- 一、なぜ小学上級科は重要でしょうか？
- 二、二つの科のある日曜学校では、小学上級科の子供たちは、どの年齢層と一緒になりますか？
- 三、小学上級科の機能は何ですか？
- 四、大きい小学上級科の役員にはどんなものがありますか？
- 五、小学上級科の集会室には何があるべきですか？
- 六、なぜ小学上級科の教師は、自分の教育の成果を評価するのを待たねばなりませんか？

第四章 教室 展 望

「生徒たちの注意を引きつけておくのに大奮闘しているんですよ」と、ある教師が言いました。「なにしろ、カーテンごしに、隣りのクラスの声が聞こえるし、うちの生徒はぎっしりつまっているし、その上、照明は貧弱なんですからね」。

この教師が生徒たちの興味を保つのに苦勞したとしても、大して不思議ではありません。教室の環境が極度に貧弱なのです。

日曜学校は週に一度の行事だし、教室は大抵一週にたった四十五分しか使用されないのです、ある教会は、日曜学校の教室を犠牲にして、建物のいわゆる「重要な」部分である会堂に力を集中するというあやまちを犯してきました。

「もし、もう一度やるのなら、わたしは適当な教育館を建てて、会堂にはあまり気をつかわないことにしますよ」。これは、自分の教会の成長が、直接に日曜学校の成長と結びついていることを悟ったある牧

師の言ったことです。「貧弱な教室設備で日曜学校を制限して御覧なさい。あなたはあなたの教会を制限することになるのです」とその牧師は言いました。

この章の中で、私たちは教室を眺めてみます。多くの教師たちは、教室の物質的構造を変えるように提案できる立場にはおりませんが、教室を明るく楽しくするために多くの事ができるのです。この章の後半では、生徒たちの組分けとクラスの組織について話します。

教室

一人の活動的で精力的な小学上級科の子供は、どれほどの場所を必要としているのでしょうか？「今以上の広さですよ」とある教師は嘆きました。子供の存在は、どんなに大きい場所でも小さくしてしまいうですが、生徒一人につき畳一枚の広さが適当でしょう。教室の壁は明るく楽しそうな色でなければなりません。部屋には適度な通風と明るさと暖かさがほしいと思います。床は、堅い木かアスファルト・タイル、あるいはじゅうたんにします。コンクリートの床をもっていたある日曜学校は、足が冷たいという不平のために、上敷きを敷かねばならなくなりました。恐らく、これらの条件を全部直ちにはかなえることはできないでしょうが、教室の環境は生徒に影響しますので、あなたの教室がこれらの理想にかなうのが早

ければ早いほど、あなたの教える仕事は楽になるのです。

教室内の設備は教室の有益性に違いをもたらします。椅子は三八センチから四三センチの高さにします。三八センチの椅子は小学上級科の年少のクラス用です。もし一種類の椅子しか備えられなければ、その中間の高さの椅子を使って下さい。

机は椅子よりも約二五センチ高くなければなりません。各クラスに、床から八〇センチほどの高さにある黒板とフランネル・ボードを備えるべきです。これらは二つとも視覚教材による教育に用いられます。掲示板もまた役に立ちます。

教室には、パレスチナの大きな地図、また学ぶ主題にふさわしいその他の地図、たとえば、パウロの伝道旅行地図、イスラエル征服時代のパレスチナの地図、王国分裂時代のイスラエルの地図などが必要です。地図はすばらしい投資です。なぜなら地図は、生徒が聖書物語を現実に関連づける助けとなるからです。

教室の壁にかかっている絵は生徒たちを、キリスト教美術の傑作に親しませてくれます。ここに、適当な絵を幾つかあげておきます。

二、宮におけるキリスト——クレメンツ

三、博士たちにまじるキリスト——ホフマン

四、大工の店にいる少年——ホーラ

五、晩鐘——ミレー

六、最後の晩餐——レオナルド・ダ・ヴィンチ

ある小学上級科の教室には、外国伝道に従事するためにその教会から出て行った宣教師たちの写真が展示されていました。その写真の列の真中には、あいた場所があって、そこに「私たちの科から出る宣教師のために予約済み」と書いた紙が貼ってありました。これは、そのクラスの生徒たちに、「そのあいた場所をうめる人になれ」と絶えず語りかけているのでした。

どんなに良い設備の整った教室でも、もし、教師が日曜学校に来るのに遅刻したり、物が散らかった、乱雑な状態にあったり、場所がきれいにきちんとしていなかったなら、魅力が無くなってしまいます。教えるという仕事には、生徒たちのために、いろいろなものを整えることができるように、日曜日の朝は早く教室にやって来ることも含まれているのです。もしできるなら、土曜日に教室に来て、物事を片づけるように手はずをきめて下さい。生徒たちがやって来た時に、教師の準備ができていながら、クラス全体の

雰囲気は変えられて、一層明るく、くつろいだものになるでしょう。

クラスの記録

記録は必要悪だと感じている教師たちは、記録が非常に価値あるものになることを理解しておりません。今日の実業界において、手腕のある経営者は、記録に基づいて事業を経営しています。そのような人は、数字の並んだ一覧表にちらりと目をやって、工場の最終生産高、売上げ高、商品目録、利益などをつかむのです。もっとささやかな意味で小学上級科の教師はクラスの記録を用いて、成長を測り、弱点を見つけて出し、生徒たちを奮い立たせ、結果を評価することができます。けれども、記録が適当につけられていなかったり、十分に利用されていないと、その利点は失われます。正確で完全な記録をとっておくのに必要なだけの時間をかけて下さい。

分級

理想的な小学上級科のクラスは六人から八人、多くても十人のメンバーで構成すべきです。クラスがこ

の人数を越える時には、分割して新しいクラスを作らなければなりません。

小学上級科のクラスは一般にまず性別によって、一つのクラスに男の子全部、もう一つのクラスに女の子全部というふうに分けられます。次には、年令、あるいは公立学校の学年によって分けられます。第二の分級を学年別にするならば、生徒は、誕生日がいつであっても、いつも一緒に学校に行っている仲間たちと同じクラスに出席することができます。大抵小学上級科の子供たちは同性の生徒を好みますから、多くの教会がこの伝統的な方法に従って分級しています。

ところが、公立学校式に子供たちを分けること、つまり各クラスに男の子と女の子を混ぜて入れる方法が、子供たちには効果があることを発見した教会もあります。生徒たちは、この型の分級に適應するのに別に困難を感じません。一週間の間、ずっと公立学校ではそうしているからです。あなたの教会に最も都合のよい方法をとればよいと思います。

ではなぜ、小学上級科のクラスをそんなに注意深く分級するのでしょうか？ 小学上級科の子供はグループに加わるのが好きです。クラブや会、あるいはグループの活発な一員となりたがるのです。そして実際に、こういう表現の場が必要なのです。そこで、賢明な日曜学校教師は、日曜学校でもこのはけ口を与えるのです。小学上級科の子供は、クラスの委員、モットー、クラスの色、クラスの研究課題など、一通りそろった自分自身のクラス組織を持つことが好きなのです。

ある小学上級科の教師は生徒たちに自分たちの愛称を選ばせました。最後に選ばれた名前はこの年令にとって典型的な名前でした。それは「神の戦士たち」だったので。小学上級科の子供は、戦士であるという観念が好きなのです。

小学上級科クラスはいつ組織すべきでしょうか？ 教師は進級後直ちに、クラスの選挙を指導すべきです。選ばれる委員それぞれの任務と資格を生徒たちに注意深く説明します。生徒たちに級長の候補者を推薦させ、それから、最初にこの地位を投票で選ばせます。その他の委員は次に示す順序で選ぶようにして下さい。

委員は一学期間（三ヶ月）務めます。短い三ヶ月の任期が小学上級科の子供たちには特に良いのです。そうすれば、委員がすぐに入れ変わり、多くの生徒にいろいろな分野の奉仕を経験させることができるからです。更に、それは、子供たちが選挙に落ちた場合に、強く感じないように、打撃を和らげます。あと三ヶ月たてば、もう一度公けの役を得ようと競うチャンスがあるからです。クラスの組織の中で生徒たちを使うという問題の最上の解決策は、多くの委員会を結成し、すべての生徒が何らかの立場で奉仕できるようにすることです。仕事を持っている小学上級科の生徒は、ただ単にやって来て、話を聞いて帰る生徒とは非常に違った気持を自分のクラスに対して持つものです。

クラスの委員

一、級長

級長はクラス会で司会をし、教師と共に活動して、クラスをより良くするための目標を立てます。級長はクラスの組織を維持していきます。

二、副級長

副級長は、会員委員会の議長です。そしてこの資格で、新しいメンバーを見つけたら、欠席者と接したりすることではクラスの指導者になるのです。副級長はクラスに来た新しいメンバーを歓迎し、クラスに紹介する任務があります。級長のいない時には司会もします。

三、書記・会計係

書記・会計係は、教師と協力してクラスの記録をとります。個々のクラスによって、これは、実際に記録をとる（教師の監督のもとで）ことから、単に、クラスが複数式記録法で満点をとるよう気をつけるこ

とに関心を持つだけというのまでいろいろあります。書記・会計係は、クラス会の議事録をとり、メンバーたちにクラス会の通知をし、親睦会などの目的のための献金の記録をとります。

委員会

委員会は小学上級科の子供たちにとって重要です。委員会は大きくなってよいのですが（三人かそれ以下で十分です）、はっきりと規定された目的と活動を持っていなければなりません。小学上級科の生徒たちは肩書きを持つのが好きですが、その肩書きに伴った活動の方が更に好きなのです。ただし、自分たちに割り当てられた仕事を成し遂げることができる限りにおいてです。委員会の仕事をあまり難しくしないで下さい。生徒たちには、はっきりした、成し遂げることができる任務を与え、それから、その仕事をできるように勧めして下さい。彼らはとてもよく、これに応答してくれるでしょう。

一、会員委員会

副級長が指揮するこの委員会についてはすでに述べました。副級長と一緒に奉仕する人を一人か二人指名して下さい。それから毎週、欠席者の名前と電話番号をその子供たちに必ず知らせるようにします。会

員委員会はまた、だれと接触したらよいか指示してもらうことが必要です。小学上級科の子供に、自分から考え出して事をするように、あるいは、気分をきかして、新しい触れ合いをしてくれるように、と期待しないで下さい。小学上級科の子供は忠実に命令に従います（もしそれらを思い出すなら）。けれども、日曜学校に招くべきことが一番はっきりしている人を、見落とすことがよくあります。

二、礼拝委員会

この委員会はクラスの集会の礼拝の部分を計画し、毎日聖書を読み、祈る人たちの記録をとります。

三、教室委員会

この委員会は、教室を小ぎれいに、きちんとしておくという、実際的で非常に有益な働きを持っています。この委員会のメンバーは、教室を明るくする花を持って来たり、クラスの授業が終わったら、椅子を並べ直したり、また、教室管理の軽い仕事をしたりするのです。

四、親睦委員会

この委員会は、クラスの親睦的活動のために茶菓などのふるまいを計画します。委員会には適切で注意

深い指導を与えるようにして下さい。茶菓の代金はクラスのメンバーたちが出し、教師の監督のもとで出費すべきです。

クラス活動

クラスを興味深い企画と取り組ませることによって、教室を快活にすることができます。二、三の簡単なアイデアが、日曜学校のクラスに出席するというおきまりのことを、生徒たちにとって、興味深い変化に富んだ経験へと変えることができます。ここに幾つかのアイデアがあります。

一、切手収集

世界のいろいろな地域にいる宣教師たちに手紙を書くのです。クラス全体でこれらの宣教師に寄せ書きをすることもできます。そうすれば、いろいろな国から返事を受け取るでしょう。これは一石二鳥です。生徒たちは宣教精神を持つことができますし、多くの興味深い切手を受け取って、それを台紙に貼り、クラスの掲示板に掲示できるからです。

二、パレスチナの模型地図作製

成分はカップ一杯の小麦粉、カップ一杯の塩、それに、その混合物をケーキの糖衣の堅さにするだけの水です。この粘土はちょうどよく固まり、いやな臭いはしません。二センチ位の厚さのベニヤ板を一枚用いて下さい。これは、地図にあとからひびが割れないように保つ堅い底になります。この合板の底部に、地図の大ざっぱな輪郭を描き、それから、しるしをつけた所に粘土を置きます。粘土を指でこねて、山、川、湖を形作ります。油絵具あるいはテンペラ絵具をぬれば出来上がりです。

三、教室の郵便箱

お知らせ事項を書いて、クラスのメンバー一人一人宛てに出して下さい。クラスを欠席したメンバーはだれでも、出席する次の時まで、自分の郵便箱を受け取れません。クラスのメンバーは自分の郵便物を箱から取り出します。これには特別な準備時間がいりますが、生徒たちはこれを好むようです。この郵便箱を、生徒たちが質問を書いて入れることのできる場所としても使して下さい。

もしあなたが神様の祝福を求めて毎日に祈り、生徒一人一人をクラスの活動に引き入れようと熱心に努めるならば、個々の教室の物質的限界にもかかわらず、あなたは、成功した、熱心な小学上級科クラスを

持つことができるでしょう。

問 題

- 一、理想的な小学上級科の教室について説明しなさい。
- 二、なぜ、クラスの記録が重要なのですか？
- 三、クラスに何人の子供たちを入れるべきでしょうか？
- 四、どちらが、小学上級科の子供たちを分級するのに望ましい方法ですか？ 性別ですか、年令別ですか？
- 五、小学上級科のクラスの委員にはどんなものがありますか？
- 六、クラスの四つの委員会をあげなさい。
- 七、小学上級科の生徒一人一人がクラスのなんらかの活動に忙しく従事することがなぜ大切のですか？
- 八、教室をもっと興味あるものにするのできる三つの方法をあげなさい。

第五章 学課の準備

ここに面白い実験があります。大きな一枚の紙をとり、その真中を鉛筆で突いて穴をあけ、それから、その紙を新聞の上に広げてのせ、鉛筆の穴ごとにニュースを読んで御覧なさい。その仕事をいつまでも続けることは、ほとんど不可能に近いことがわかるでしょう。あなたは、そのようにしてニュースを全部読むことはできませんが、長い時間かかりますし、全部を完了するまでに、前に何が書いてあったかを大部分忘れてしまいます。

写真は、鉛筆の穴ごとに眺めたら、ほとんど意味が通じません。写真の小さい部分部分は見えて来ますが、全体を見ることができないので、これらの断片を一つのものとしてつなぎ合わせるのが困難なのです。

教師が、学課を準備する際に、全体の姿を見てとるなら、日曜学校教育はもっと成功するでしょう。この章は「命の言葉文書」(アッセンブリー教団の教案)の目的を説明していますので、学課準備の全体的

方向を見てとるための助けとなるヒントを与えるでしょう。

「命の言葉文書」の目標

キリストはお教えになる時いつも、心のうちにはっきりと、目的、目標を持っておられました。マタイによる福音書第一三章一九節の中で、キリストは種まきのたとえをお語りになりました。弟子たちはそのたとえの意図―目標―がわからなかったので、説明を求めました。マタイによる福音書第一三章一八―二三節の中で、キリストはみ言葉の意味を説明なさいました。例話の目的は、農業上の教訓ではなく、霊的受容力と成長に関する教訓を教えることなのだと示して、その意味を説明なさいました時、今まででなかったことが、弟子たちに明らかになったのでした。

また別の場合には、キリストは前もって、御自分の教えの目標を明らかになさいました。たとえば、ルカによる福音書第一〇章三〇―三七節で、キリストは良きサマリヤ人のたとえをお語りになりました。そこに居たすべての人は、イエス様が御自分をわなにかけようとした律法学者の質問に答えておられることを知っていました。そのたとえの目標は、聞いている人々には、はっきりわかっており、みな、すぐに理解できたのです。

あなたが教える学課にはそれぞれ、あなたが最初に理解しておかなければならない目標があります。この目標はその日の学課のねらいの中に示されてあります。しかし学課を学びながら、なおよく見落とすものは、「命の言葉文書」の全体的目標です。これは、各週の直接的学課をはるかに越えて、えい児から成人までの全カルキュラムを包括しているものです。こうした全体的な目標が、日曜学校生徒がその出席する全期間を通じて受ける教育の主流を統制支配しているのです。これらの目標は、非常に興味深い過程を通じて、決められてきました。

一、「理想的な」ペンテコステ人

「命の言葉文書」の目標が最初に決められた時、発案者たちは未来を思い見て理想的ペンテコステ人はどうあるべきかを想像しました。小学上級科の子供はだれもおとなになるのですから―もしイエス様のおいでになるのがそれまでになければ―これらの発案者たちは自らに問いかけました。「日曜学校の生徒たちがおとなになった時、どんな特質を持ってもらいたいと私たちは望んでいるのだろうか？ この子たちがそれぞれ、理想的なペンテコステ人とならしたら、どのような人になるのだろうか？」

その結果発案者たちは、この文書は「理想的な」おとなを作りだすような教訓と真理を含んでいなければならぬということに気づきました。こうして彼らはまず、最終結果である、おとなの中に達成される

べき長期目標を確立しようと努めました。

これらの目標がどのようにしてできていったかといういきさつは、この本では十分に探求できない、面白くて長いいきさつです。しかし、聖霊の導きと、アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団中の多くの忠告者たちのおかげで、目標は定められました。これらの目標は、「命の言葉文書」の全体的目標が、アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の交わりと完全に同調するようにと、絶えず検討され続けています。

二、「典型的」な生徒

理想的ペンテコステ人の特質が定められた後、発案者たちは、この全体的目標の一つ一つがどのようにして各年令層に適應できるかを見るために、小学上級科の子供を含めてあらゆる年令のレベルを調べました。こうして、どの年令の文書も、「主の薫陶と訓戒」(エペソ六・四)によって生徒がはぐくみ育てる必要のある特質、特徴、及び知識を、各生徒に与えるという目標をもって作られました。

ではこれらの「命の言葉文書」の目的は何を含んでいるのでしょうか？ 次にあげる七つの終局目的がこの文書の基礎を形作っています。

1、イエス様の血による救い。救いの必要性が認識されなければなりません(ロマ三・二三、六・二三)。

救いの現実性が経験されなければなりません(ロマ五・九、エペソ二・八、九)。そして実際に起こった事に対する知識が教えられなければなりません(ペテロ二・一五)。

2、聖霊のバプテスマ(賜物とその働きにおける聖霊の活動を含む)(使徒一・八、二・四、三八、コリント一・一二章、一四章、エペソ三・一六―二二、四・三一―一六)。

3、聖書知識(聖書の教理についての理解と同じく、聖書そのものに対する知識を含む)(テモテ二・一五)。

4、キリストへの個人的明けわたし。生徒各人は、自分の命、時間、才能、財産全部を神様にゆだね、キリストの真の弟子とならなければならぬことを教えられます(ルカ一四・三三、一八・二九、三〇、ヨハネ一二・二六、ピリピ三・八)。

5、クリスチャンとしての成長。キリストが「ますます知恵が加わり、背たけも伸び、そして神と人から愛された」(ルカ二・五二)ように、クリスチャンは、聖霊の働きによって霊的に成長しなければなりません(テサロニケ一三・一二、ヘブル六・一、ペテロ一・二・二、ペテロ二・一・五、六、三・一八)。

6、奉仕に加わること。個人的明け渡しをする必要性は一つの目標です。しかし他の人々と共に主に奉仕する必要性は、もう一つ別の目標です。発案者たちは、多くの小学上級科の子供たちが——他の者たちもそうですが——一致協力した奉仕をするという必要性を見落とすことを知りました。しばしば、誠実な

クリスチャンたちは、個人的明け渡しがクリストのお求めになるすべてであると思っています。そして、クリストが、協力した努力ということを非常に強調されたことに気づかないのです。マタイによる福音書第一八章一九節を、協力して靈的奉仕をする人々にイエス様がお与えになった約束として見て御覧なさい。協力の反対である闘争は聖書全体を通して弾劾されています(箴言二〇・三、ピリピ二・三、テモテ二・二四、コリント二一二・二〇)。すべてのクリスチャンはクリストのからだの肢体ですから(エペソ五・三〇)、そのからだと協力して働かなければなりません(コリント一一二・一三―二七)。

7、クリスチャンとしての生き方。クリスチャンは共同社会でどのように行動すべきでしょうか？市や教育関係のグループに対するクリスチャンの責任は何でしょうか？クリスチャンは選挙の投票をすべきでしょうか？政界にはいるべきでしょうか？この二十世紀半ばにおいて、どのように人生に直面したらよいのでしょうか？これらの問題は、この目標が展開されていくにつれて、解答を与えられていくものです。

以上あげた「命の言葉文書」のもつ七つの一般的目標は、一つの全体的目標に要約することができま

す。すなわち、人々が新しい誕生によって神様の子となり、靈の働きによって靈的に成熟し、聖靈によってバプテスマを授けられ、聖靈の力と油注ぎによって励まされ、導かれて行動し、また、神様との交わり

においてもクリスト教の実践と奉仕の生活においても、それぞれの人生に対する神様のみ旨を成し遂げるように、ということです。

あなたの受け持つ小学上級科の子供たちが「命の言葉文書」によって提供される訓練を受ける時、彼らは、その最終的結果として、成熟したペンテコステ人を生み出すところの、注意深く組まれたカリキュラムの恩恵を十分に受けることになるのです。

個人的準備

教えるという仕事は、小学上級科の子供を死から命へ、罪から救いへ、永遠の損失から永遠の利得へと連れてくることを含んでいます。しかしこれは聖靈が生徒の心に働いて下さる時にだけ起こるのです。このようなわけで、学課を適切に準備するためには、あなたの靈的任務のために、自らを整えなければなりません。

一、生徒全員のために名をあげて祈ること

週の始めに——これがあなたの学課準備を始めるべき時です——神様に、新しい学課の真理を生徒一人

一人の生活にあてはめて下さるようにと求めて、生徒全員のため、名をあげて祈り始めて下さい。祈りながら生徒一人一人のことを思って下さい。その個人的状況を考えるのです。その子供が自分の弱さや誘惑に勝利できるように祈って下さい。もし、あなたが生徒を訪問しているなら、これらの事実がすぐに思い起こせるでしょう。一週の間毎日、神様が次の日曜日の学課を、生徒たちにとって生き生きとしたものにして下さるようにと求めて下さい。そして神様があなたの祈りに答えて下さると信じるのです。

二、自分はキリストのわざをしているのだと信じること

ある人が言いました、「わたしはクラスを教えるなんて、とてもできません。失敗することがわかってるんです」。けれども、この同じ人が数分前には、教会の集会で「イエス様は失敗なさらない」というコーラスを歌っていたのでした。

私たちは皆、神様の助けの力について歌ったり、あかししたり、語ったりします。しかし、実際に信仰に踏み出し、神様の力をためすのは、また別問題だということがわかります。教師は、神様が教師自身よりも、小学上級科の子供たちのクラスに一層関心を持っておられることを心に留めなければなりません。日曜学校教師の地位についた人はだれでもキリストの手の中にはいり込んだのです。この世界で魂の幸福以上に大切なものではありません。キリストは、子供たちを義の道に導こうと努めている人を忠実に支え、

助け、力を授けてくださいます(ピリピ四・一二)。

そうであるのに、なぜ教師はそんなにしばしば不安を感じるのでしょうか？ 自分の能力を疑わせるのは一体何なのでしょう？ この疑いと心配はどこからやってくるのでしょうか？

一人の青年が、キリストを救い主として受け入れた晩、自分の部屋にはいり、神様のみ言葉で魂を養おうと聖書を手に取りました。読んでいくうちに彼は神様の真理にふれて強い感動を受けました。彼は祈って、それから床についたのです。ところが、横になると、彼は自分の救いを疑い始めました。疑問が、次から次へとわいてきました。その一つ一つに答えようとしているうちに、青年は、救いの確信と神様の臨在の現実性が色あせていくのに気づいたのでした。突然、彼はこれらの疑問は自分自身のものではないことを悟りました。サタンが彼を混乱させ、困惑させようとして、彼の思いの中に疑問を入れていたのです。青年はもうそれ以上疑問について考えるのはやめにして、寝返りをうち、眠りにつきました。

あとになって、彼のクリスチャン生涯において疑問は起こりましたが、彼は、あの救われた最初の夜ほど激しく攻められた時はありませんでした。サタンが、一連の疑惑によって、この青年を神様への信仰からそらそうとしたのでした。

サタンの疑問に耳を傾ける教師、無力感に屈する教師、心配に負けてしまう教師は、サタンによって霊的勝利と力を奪取いられるのを許しているのです。「私はキリストのわざをしているのであり、キリスト

が私を助けて下さる」と信じて下さい。「わたしを強くして下さいるかたによって、何事でもすることが出来る」(ピリピ四・一三)。このみ言葉を暗記し、あなた自身のものとして下さい。

学課の計画

普通の学課計画は次のことから成っています。(一) 目的あるいは目標を決めること (二) 教材を選ぶこと (三) 必要な課題を作ること (四) 教える手順を選ぶこと (五) 終わりの活動。日曜学校教案が発行されていきますから、教案を見ればこれらのことは既にできています。各クラスが異なった状況に直面している生徒たちをかかえているのですから、教案をあなた自身の教室環境に合わせて用いたいと思うでしょうが当然のことです。教材は必要に応じてあなたが適当に改めて下さい。

ここに、学課の立案に関する良い七段階があります。

一、週の始めに着手すること

あなたの教える来週の学課を日曜日の午後読んで下さい。それから、その学課の大切な点の例話となるニュースや出来事を、一週の間、注意深く捜すのです。教案にのっている例話も結構ですが、それは、あ

なたが自分自身の経験の中で見つける例話のように、必ずしも時期を得た、あるいはぴったりしたものである、というわけにはいきません。生徒たちも知っている、本当の出来事を用いて下さい。もし、前もって主題を知っておくなら、あなたの学課に応用できることが、一週間のうちにどんなに沢山起こるか、あなたはびっくりすることでしょう。もし、週末になってから学課の勉強を始めるなら、もっと早く勉強していたら気づいていたはずの例話になる出来事も、あなたはめったに思い出せないでしょう。

二、学課の前後関係を学ぶこと

その週のうちに、テキストとなっている聖書の箇所の前後のみ言葉を読んで下さい。学課で扱う事件の歴史的背景を、聖書辞典か普通の歴史書で調べて下さい。その当時の人々の風俗習慣に関して、できるだけ見つけ出すことです。更にこれらのことを今日の世界と関連づけるように努めます。たとえば死海はアメリカ、ユタ州にあるグレート・ソルト・レーク(注1)になぞらえることができます。生徒たちに、だれかグレート・ソルト・レークに行ったことがありますか、と尋ねて下さい。

[注1] どちらの湖も塩分を非常に多く含んでいる。

三、アウトラインを作ること

教案の中のアウトラインを使ってもよいし、もし、その方が良いと思えばあなた自身のアウトラインを作ってもよいのです。アウトラインは、メモと共に、クラスを教える時、あなたの聖書の中にはさんでおくべきです。一週の間、教案を勉強する時に、重要な箇所には色鉛筆で線を引いて下さい。線を引いておくと、復習がずっと早くできます。アウトラインを暗記し、各区分の重要な部分を見ないで思い出すようにして下さい。

四、できるだけ多くの参考資料を読むこと

この本の第一章に、多くの聖書参考書をあげました。このリストを見直して、もしこれらの参考書を全部持っていないならば、集め始めて下さい。聖書辞典、注解書、あるいは地図は必ずしも新しいものでも必要はありません。古本屋にはよく、これらの本が元の値段よりもずっと安く出ています。けれども、多くの教師たちは、これらの本は自分たちの専門的資料になると感じ、特別の出費を払っても最新の資料を入れた新しい版を手に入れようとしています。

五、日常の経験から物語を集めること

これを十分に行なうために、新聞の切り抜きや、たまたま耳にはさんだ話などを書きとめて、入れるこ

とのできるフォルダーか封筒を用意します。子供たちが自分たちの学校や町に関係のある例話に反応してくる様子を見れば、あなたもうれしくなるでしょう。そのような申し分のない例話は、学課の主題を「おとぎ話」の部類から取り出して、実生活の出来事という分類に入れる役目を果たします。

六、生徒たちのために課題を準備すること

必ずこれらの課題を行なわせて、よくできた生徒たちを公けにほめてあげるようにして下さい。生徒を一同の面前で困らせてはいけません。間違いを正すのが必要ならば、個人的に、愛をもってしましょう。課題は難しくはいけません。だれでもやりそこなうのは好きではないのですから。もし、課題が生徒の能力の範囲内であれば、その子供は、忘れない限り喜んでするでしょう。土曜日に生徒たちに電話して、彼らが次の日にしなければならぬことを思い出させてあげるのも、小学上級科教師の仕事の一部でしょう。小学上級科の子供は教師を喜ばせたいと思っはいるのですが、子供の世界は、多くの活動で一杯なので、子供は忘れてしまうのです。

小学上級科の子供は小さなおとなではないことを記憶していて下さい。それは成長途上の子供であって、その人の能力全部はまだ身につけていないのです。

七、視覚教材の使い方と理解すること

「命の言葉文書」から出されている視覚教材には、フランネルグラフのフィギヤ、視覚カード、ピクチャー・ストリップ（大型掛け絵）、地図、及びその他、聖書物語を説明する教材などがあります。これは視覚教材の一つの型にすぎません。目で見られて、思想を明確にしたり、抽象的なものを具体的にするのに役立つなら、どんな物あるいはシンボルでも、視覚教材として考えてよいのです。

なぜ教案を使うか

心根は良いのですが、誤った知識を教え込まれたある人々は、日曜学校教案は不必要だと感じてきました。「聖書を持っていらっしやい。日曜学校教案ではなくてね」と彼らは言います。しかし彼らは二つのあやまちを犯しているのです。

第一に、聖書と日曜学校教案とは互いに排除し合うものであって、もし一方を持つなら、他方は持てないのだと、彼らは思っているのです。事実は逆で、聖書と日曜学校教案は立派に一緒に使えるのです。

しかし、教師はクラスを教える時には、教案ではなく聖書を手に持つべきです。一枚の紙片に学課のアウトラインを書いておきましょう（もし暗記することができなければ）。このアウトラインは骨組みで、

教師はそれに、自分の個人的学習や研究の「肉」をつけるのです。

教案は聖書の代わりをするように意図して作られてはいません。教案は、教師が学課の主題に触れる最初の触れ合いなのです。しかし教案は教師がひもとく決定的資料ではありません。有能な小学上級科教師は、教案と聖書と、その他の資料をも学ぶのです。

教案を廃したいと願うこうした人々の犯す第二のあやまちは、「適用的移行」という教育的問題に気づいていないことです。教育において最も難しい問題の一つは、生徒を鼓舞激励して、彼の人生の他の領域に移って行かせ、彼が学校で学ぶ真理を実際に経験させることです。言い換えれば、問題は、生徒に自分の知っていることを実生活に適用させることなのです。日曜学校教案は特に、聖書の真理を生徒にとって現実的なものにし、その真理をその子供の日常生活に適用するために書かれています。

たとえば、ししの穴に入れられたダニエルの物語を考えてみましょう。教師は聖書から直接に教えることができませんし、生徒たちもししの穴に入れられたダニエルの物語を完全に知るかもしれません。おそらく、生徒たちのある者はその物語全体を記憶していてもう一度話することができるでしょう。しかし、この生徒たちは、学課を適用に移行してでしょうか？ 彼らは、自分たちが毎日、どんな「しし」に出会うかを知っているでしょうか？ 公立学校や、その住んでいる隣近所で、自分たちが毎日、投げ込まれている「ししの穴」に気づくでしょうか？ ダニエルのようになるには彼らは何をしなければならぬので

しょうか？ それとも、彼らは、ししの穴に入れられたダニエルは、ずっと昔、遠い所で起こった話だという考えをもって、授業から帰って行くでしょうか？

聖書物語が、日常生活に適用されると、生徒たちは物語だけではなく、今日の社会におけるその物語の意味をも理解するようになるのです。教案は小学上級科教師のために、このような適用を提供してくれます。

学課の準備は効果的な教育には必須なことです。学課の「全体的姿」をつかみ、神様があなたの言葉を霊的真理を伝える道具として下さるよう祈り、学課の計画を正しく立て、神様があなたの努力を祝して下さるのを見守って下さい。

問 題

- 一、なぜ、学課の「全体的姿」が重要ですか？
- 二、「命の言葉文書」の目標の重要性は何ですか？
- 三、なぜ、この目標の発案者たちは、最初に「理想的な」ペンテコステ人について考えたのですか？
- 四、社会におけるクリスチャンの生活の問題はどの目標のもとに出てきますか？

- 五、なぜ、生徒全員のために、名をあげて祈るべきでしょうか？
- 六、ピリピ四・一三を見ないで言ってみようか？
- 七、学課計画の五つの部分は何ですか？
- 八、学課の学びに週の始めから着手することがなぜ大切ですか？
- 九、あなたの蔵書には、聖書の参考書が何冊ありますか？ また、何冊、備えるべきでしょうか？
- 一〇、小学上級科の子供たち用の課題は、なぜ、子供たちの能力の範囲内であるべきでしょうか？
- 一一、適用的移行とは何ですか？

第六章 変化に富む教え方

小学上級科のリックキーは、日曜学校に急いで行く途中、ぶらぶら歩いているマークに追いつきました。

「急げよ、マーク」とリックキーは言いました。「遅刻だよ。授業を少しのがしちゃうかもしれないよ」。

マークは肩をすくめました。「そんなことなんでもないさ。話ならわかっているもの。いつもとおなじことだよ。聖書を読んで、出席をとってね」。

マークがこれにつけ加えようと思えばつけ加えることができたことは、先生はいつでも「先週の学課は何についてでしたか」と言って授業を始める、ということでした。死んだような沈黙がいつもそれに続き、それから先生は「皆さん、覚えていないのですか」と言うのでした。

マークが知らなかったのは、マークの先生は「私はこの生徒たちに何も教えていないのだ」と心ひそかに、悲しく思うということでした。それから、すっかり失望し、打ちひしがれて、先生は新しい学課を始めるのでした。

マークの先生について困ったことは、教え方に変化をつけないということでした。そして良い教師は、生徒が、どの授業も「いつもと全く同じことと始まるのだ」と言えないように、違ったやり方で行なおうとするものだ、ということを知らなかったのです。

どうしたら、私たちは、授業に変化を持たせることができるのでしょうか？

手始めに、私たちは、変化に富んだ授業を妨げる幾つかの障害物を倒さなければなりません。

変化への障害物

一、「私の古いやり方は今までいつもうまくいきましたよ」

おそらく最も大きな障害は、一つの方向、つまりうしろばかり眺めている時にすべての教師が落ち込む昔ながらのやり方だと思います。迫想の中では、すべてのものがバラ色に見えるのです。「過ぎ去った時代に対する私たちの記憶は、ピンクで濃く色どられている」というのは心理学的事実です。私たちは不愉快な事実は忘れ、バラ色の楽しいことだけを覚えていきます。おそらく、これは、私たちが自分の教え方を評価する時にも起こることでしょう。昔ながらの、使いたれた方法が一番良いように見えます。では、なぜ、そういう方法を捨てるのでしょうか？ その答えは、生徒は変化を望んでいるし、またそれを必要と

しているということです。

公立学校でさえ自分たちの教授法を再評価しなければなりません。フィラデルフィア教育庁のラジオ・テレビ局長をしているマーサ・ゲイブル女史は次のように報告しています。「大規模なクラスで教えられた子供たちは、事実、知識、技能などを、伝統的方法で教えられた子供たちと同じ位、あるいはそれ以上によく覚えます」。もしこれが本当なら、なぜ、時には、二つかそれ以上のクラスを合同して大きなクラスでやってみないのでしょうか？ ある環境のもとでは日曜学校はこういうことをしてきました。諸教会を歴訪して歩く宣教師や巡回伝道師が話す時には、科の生徒全員が「開校礼拝」で一緒になることもあります。このようなテクニクを別の時にも利用することは不可能なのでしょうか？ 私たちはこの質問を自らに問いかけ、適当な答えを見つけるように努めるべきです。しかしこのようなグループ指導法は特別な催し物としてのみ用いるように限定すべきです。

けれども、教え方の変化は、他のどのクラスにも影響を与えずに、つけることができます。ただしそれはもしすべての教師が、「今までいつもうまくいった「古い方法」を越えて、考えてみようとする気持ちがあるならば、です。何か新しいことを進んでやってみようとするだけでも、前進への大きな一歩となるので、変化に富む教え方を妨げる第一の障害を克服するものとなるのです。

二、「私は学課の計画を立ててしまいましたので、私の計画はもう変えられません」

授業を変化に富ませることについての第二の障害は、第一の障害よりいくらか増しです。この場合、教師は学課を計画するために時間と努力を費しました。そして自分の計画が実行されるようにしたいと思っています。決断力というものは立派な品性の一つですが、時には喜んで変更することも必要なことです。

もし、聖霊が別の方向へお導きになるなら、あなたが前もって計画した教授法を捨てることを恐れないで下さい。ここに、注意しておくべき三つのことがあります。これらはあなたの計画した学課に変更をもたらするものです。

1 興味のあるしを見張っていること

あなたの授業のある面が本当に生徒たちを夢中にさせる時には、この興味の管にそって授業を進めるように計画を変更することを恐れてはいけません。生徒の関心は、私たちが好き勝手に作り出すことができず、こわれやすい貴重なものです。ここで生徒の興味というのは、靈的真理に対する興味という意味で私たちが話している例話や物語への興味のことではありません。授業が心の琴線にふれて、生徒の中で鳴り響き、その子供が注意深く質問をする時には、教師は自分のあらかじめ計画した授業から離れて、こういう質問に答えるべきです。

2 神のみ霊が働き始める時には、待つこと

授業を勝手にどんどん進めていくと、折角存在している罪の意識が押しつぶされてしまうこともあります。罪意識の徴候が現れないか生徒たちをよく注意して見て下さい。そして、聖霊が生徒たちを取り扱っておられるのを見たら、あなたの計画をわきへ置き、神様の御計画をあなたの授業の中に注入していただくのです。もしどうしたらよいのか確信がないなら、罪意識をもたらした点をあちこち語りながら、少しの間待って下さい。そして神様の導きに引き続き心を聞いて下さい、そうすれば神様があなたを導いて下さるでしょう(ヨハネ一六・一三)。

3 叱る言葉に注意すること

注意力が不足していたり、行儀が悪いために、生徒たちをたしなめなければならぬ時には、言うことに注意して下さい。本当の犯人はあなた自身と、あなたの提供している注意深く計画された学課なのかもしれません。行儀の問題の原因は普通、面白くない学課にあるのです。学課に心奪われている小学上級科の子供たちは騒ぎを起しません。「お行儀よくしなさい、そうでないと、あなたたちのことを校長先生に報告しますよ」と言う代わりにこう言ってみて下さい。「さあ、新しい事を始めましょう。皆さんにはきくと面白い事ですよ」。もし、あなたが何か今までと違ったものを提供できれば、行儀の問題の多くは解決してしまいます。

三、「私は新しい方法が恐ろしいのです」

変化に富んだ授業を妨げるこの第三の障害は率直で正直です。何か新しいことをやってみるのを、ためらう本当の理由は、それを恐れているからだ、実際に自他共に認める教師も少しはいるでしょう。しかしそれを認める人一人につき、内心はそう感じながらも、新しい方法だけでなく、自分たちが臆病であることを認めることをも恐れている人が何十人という割合でいるのです。

新しい教授法は教師によって注意深く調べられなければなりません。ある種の方法を恐れる理由は当然あるのです。けれどもその方法が研究されて、教室の状況に合うように精選されたものなら、教師はそれをためしてみるのを恐れる必要はありません。次に、新しい教授法を選ぶための四つの道しるべをあげます。

1 生徒たちの性質を考慮すること

もしあなたのクラスが典型的な小学上級科のクラスならば、子供たちが注意を集中してられる時間は二十分ほどです、とすれば有名なクリスチャンの四十五分もかかる伝記を含んだ新しい方法などは取り入れられないはずで、教授法はその生徒の性質に合わなければなりません。

2 教える主題を考慮すること

もし、あなたの授業がパウロの旅行についてであれば、地図は教材として非常に有益なものです。しか

し、パウロの訪れた町々の名を暗記することは、この授業には不適当です。あなたの目的は、パウロの伝道旅行の全体的展望を生徒に与えることであって、パウロの訪れた場所の特殊な名前を教えることではないのです。

3 教室の物質的条件を考慮すること

もし教室を暗くすることができなければ、幻燈はできません。もし、電源がないなら、テープ・レコーダーは使えません。あなたの選ぶ方法は、教室の物理的制限内で使用できるものでなければなりません。

4 手もとにある材料を考慮すること

あなたの教授法は、あなたが既に持っているか、手に入れることのできる設備や材料から決めていかなければなりません。あなたはすぐれた美術作品の複写の幻燈を中心としたすてきな授業を計画してもよいでしょう。しかし、もし幻燈機をもっていないならば、絵を視覚カードに貼って見せたり、ただその絵を教室に回すだけにしなければなりません。あなたのとる方法は実際的でなければなりません。

もし、あなたの用いたいと思う方法が、今までにあげた四つの条件にかなっていないならば、恐れずに実行して下さい。あなたはその結果うれしい驚きを感じるでしょう。

一九四八年、ハンガリーのカロリー・タコクスは、射撃でオリンピック金メダルをとりました。彼は右手で撃ちました。二年後、彼はひじと手首の間で右腕を切断されました。ところが一九五二年、

彼は再びオリンピック競技に出場し、二度目の金メダルを獲得したのです。しかもこの時彼は左手で撃ったのでした。あなたももう一方の手を使って下さい。新しい方法をためすために古い教授法を一時手放してみして下さい。そうすればまだ救われていない生徒をキリストのために獲得することによって、「金メダル」がもらえるかもしれません。

変化に富ませる方法

この章では、主として教師による活動を含む教授法とテクニクをあげることになります。次の章では、生徒の参与する教え方を論じましょう。ですから次にあげる教授法は、その成功がほとんど全部、教師の肩にかかっております。

一、物語

小学上級科の子供たちは物語を聞くのが好きですし、自分たちの興味のある話には夢中になって聞き入るものです。その物語が、子供たちをより良いクリスチャンになるように奮い立たせる霊的真理を含んでいる時には、それは非常に効果的な教授法となります。面白いものであるためには、物語は真に迫ってお

り、サスペンスがあり、子供が自分自身と同一視することのできるような主人公を描いていなければなりません。今はこのような物語を沢山手に入れ、必要に応じて適切な話をすることができます。ある小学上級科のクラスでは、教師が授業時間ごとに、五分間ほど、宣教師の一連の物語の中から読んであげていました。けれども、あなたのクラスの特長な必要に応じるためには、話をする方がただ本を読むよりも良いと思われまふ。物語を創作する場合には、次の簡単な原則に従ってください。

1 物語を困った状況から始めること

主人公は何かがほしいのですが、いろいろな出来事や人が邪魔をするので、それを手に入れることができまふせん。

2 物語が進展するにつれてその困った状況を悪化させること

主人公はその問題を解決しようと手を尽くしますが、それはかえって問題を大きくしてしまふばかりです。

3 主人公の行なう何かによって、その問題を突然解決させること

主人公は大きなハンディキャップに英雄的に立ち向かって、突然彼の困難を解決してしまふべきです。主人公以外のだれかが問題を解決するなら、物語は効果がありません。あなたの語る主人公が本当の英雄なら、自分自身の問題に解決を見いだすことができるはずなのです。

二、実物教訓

釘の穴があいた一枚の板切れは、罪の結果を示す実物教訓になります（釘が抜き去られたあとでさえ、板に傷あとが残っています）。山のように盛った塩と、同じように山のように盛った砂糖は、自分自身で味をみて調べなければならぬことを示します（救いは個人的に体験しなければなりません。自分で味わってみる時、あなたの疑問は答えられるのです）。これらは、実物教訓がどんなにあなたの授業に変化をつけ加えるかを示す二つの例です。学課の真理を子供たちにしみじみ実感させるような物を提供して御覧なさい。「赤信号を見るたびに、罪をゆるすキリストの血を思いなさい」とある人は言いました。そのクラス生徒たちは毎日、学校の行き帰りにキリストのことを思うことでしょう。

三、視聴覚教材

多くの町では、幻燈フィルムが借りられ、あなたの授業にとって非常に面白くまた有益な助けとなってくれます。視聴覚設備を使うには、電力と映写機、それに暗くした場所が必要です。スクリーンが無くても、壁にぶら下げた布を代わりに使うことができます。

四、黒板

黒板を教育の方法として効果的に用いるためには、教師は絵が上手でなければならぬと考える必要はありません。ハート型の中から、てっぺんに頭があり、腕と足のついたものを描けば、神様に従うことの三つの本質がその上にはっきり示されます。頭に「知性」、ハートに「感情」、手と足に「意志」と書きます。これは、私たちは最初に、神様が私たちにすることを望んでおられることを知性によって知り、神様が私たちにするようにと望んでおられることを心の中で感じ、次に私たちの意志で、神様のみところを行なうために行動するさまを示しているのです。黒板に書いたものは何でも、どんなに大ざっぱであっても小学上級科の子供にとっては単なる言葉より、はるかに興味深いものなのです。

五、図表

図表を使うためには、その週の間そのために時間をかけなければなりません。小学上級科の子供たちのための図表として一例をあげれば、その週の間何人の生徒が親切な行ないをしたか、何人、聖句を暗唱したか、聖書を読んだか、などを示す図表があります。図表は模造紙にマジックペンなどで書けばよいのです。クラスに芸術的才能のある人がいたら、次のページのような図表を準備できるように。



神の勇士



一月分成績表

名前	親切な為				聖書読				暗唱句				毎日の祈り				さそいけ			
	6	13	20	27	6	13	20	27	6	13	20	27	6	13	20	27	6	13	20	27
市川 力	✓				✓				✓				✓				✓			
串田 良子	✓				✓				✓				✓				✓			
斉藤 友子	✓				✓				✓				✓				✓			
鈴木 武志	✓				✓				✓				✓				✓			

六、あやつり人形

時にはあやつり人形が非常に有益な教材として役立ちます。お互いに語り合う二つの人形（又は、教師に向かって語る一つの人形）は、教師が生徒たちに直接にはとても言えないことを言うことができます。小学上級科の子供たちは喜んで見てくれます。そして、クリスチャンがしてはならないことをやりたがるその人形がどんなに愚かであるか、すぐに見てとり、人形劇の示す真理を自分たちの心に適用するのです。人形を使って教える際、だれかに手つだってもらえたらなお良いと思います。

七、テープ・レコーダー

もしテープ・レコーダーを手に入れることができれば、時折の授業にそれを使って下さい。ある教師は生徒たちに内緒でテープ・レコーダーを操作し、それから彼らの言ったことを再生して聞かせました。その教師は、神様が私たちのすべての言葉を録音しておられ、私たちはすべての無益な自分の言葉のために言い開きをしなければならぬという事実を強調したのでした。学課を勉強して、テープ・レコーダーの利用法を見つけ出そうと努めていると、その他のアイデアも自然に浮かんでくるでしょう。

八、伝記

偉大なクリスチャンの興味ある伝記は生徒たちに読んで聞かせる良い読み物になります。物語のテクニクの場合と同じく、授業の時にあまり多くの時間をかけて読んでいる余裕はありません。けれども毎日曜日、数分間、生徒たちをすぐれたクリスチャンたちの生涯に触れさせましょう。子供たちの多くは、他の人々の伝記を自分で読んでみたいと思うようになるでしょう。

九、文書

ここで言う文書とは、生徒たちが持って帰る、お知らせや指示を書いた紙です。あなたの教材を見渡してみて、もし、真理が、生徒用の教科書の中で十分に扱われていないと感じるなら、生徒に与える文書を準備して、それを詳しく説明してもよいのです。文書のもう一つの利用法は特別な暗唱をしている最中に生徒たちにある特定の聖句や教理的事実を覚えさせたいというような時です。

一〇、カウンセリング

これは最初一見して、教授法とは思えないかもしれませんが、おそらく最も効果的な教授法の一つなのです。カウンセリングは授業の時間には行なわれません。それは、あなたの家や生徒の家、あるいはどこ

か、両者が個人的に問題を話し合える場所で行なわれます。生徒にカウンセリングをする時には、キリスト教的原理と真理をどのように自分の生活に適應するかを生徒に示すようにします。もしその生徒が救われていないなら、あなたのカウンセリングの時間はその子供を主イエス・キリストに導くためのものとなるかもしれません。そのような場合、あなたはその生徒に四つの基本的必要を示してあげるべきです。

- 1、きよめの必要性(ロマ三・二三)
- 2、キリストの必要性(ロマ六・二三)
- 3、告白の必要性(ローマ一〇・九、一〇)
- 4、勇気の必要性(ローマ一・一六)

変化をつけない場合

次にあげる詩は、教師がその教え方を変えるのを拒む時、小学上級科のクラスに何が起こるかを示しています。この詩は、シャイバート・H・ハレイ夫人の作で、「日曜学校設立者」に載ったものです。この教師はそれぞれの場合、生徒を失わないように何をすべきだったのでしょうか？

そのクラスはどうなったの？

一列に並んだ十人のおしゃべりな生徒。

先生が言います「おしゃべりやめて静かにお聞き」。

次の日曜、生徒は九人。

待ちくたびれた九人の生徒。

先生はどこ、まだみえないの、

次の日曜、生徒は八人。

天国を知りたい八人の生徒。

先生が言います、「今日の学課はそれではありません」。

次の日曜、生徒は七人。

いたずらざかり七人の生徒。

先生のおめだま、「ゲームはいけません」。

次の日曜、生徒は六人。

元氣いっぱい六人の生徒。

「さあ、覚えなさい、この詩篇」。

次の日曜、生徒は五人。

読書はたいくつ五人の生徒。

難しい言葉の意味がわからない、

次の日曜、生徒は四人。

友だちはどこ？と四人の生徒。

先生はためいき、首を振る、

次の日曜、生徒は三人。

すてきなことをしたい三人の生徒。
ごそごそ、もじもじできるだけ、
次の日曜、生徒は二人。

ピクニックがいいな、と二人の生徒。
先生は言います、「時間がありません」。
次の日曜、生徒は一人。

時々出席の一人の生徒。
生徒十人で楽しかったクラス、
いったい何が起こったの？

問 題

一、今までうまくいっていたとしても、時には教え方を変えなければならないのはなぜですか？

- 二、どんな場合に、自分の授業計画からそれるべきでしょうか？
- 三、新しい教授法を使ってみる前に考えるべき四つの道しるべは何ですか？
- 四、なぜ、物語は、困った状況から始めるべきでしょうか？
- 五、授業時間のうちどれ位を、物語や伝記のためにさいたらよいでしょうか？
- 六、ここに、幕の書かれている五つの教えるテクニクをあげなさい。

第七章 授業における生徒の用い方

ある朝、粗末な家の中で、ルイジ・タリシオが死んでいるのが見つかりました。彼の貧しい持ち物を寄せ集めた友人と親せきの人たちは、二百以上のバイオリンを見つけびっくりしました。それは彼が一生かかって集めて、家の屋根裏に押し込んでいたものだったのです。タリシオは古いがたがたの大きな机の一番下の引き出しの中に、自分の一番良いバイオリンをしまっていました。

タリシオはバイオリンが好きでした。しかし、その楽器を収集しようとして、彼は世の中からその楽器のかなでる音楽を奪い取っていたのでした。彼以前にも他に同じことをした人たちがいました。名器ストラディヴァリは一四七年の沈黙の後、始めて演奏されたのでした。

私たちは、そんな人たちのことを考えて、その人たちはなぜ自分の持っていた素晴らしい楽器を使わなかったのだろうと不思議に思います。なぜ彼らは使わなかったのでしょうか？ けれども、他人を責める前に、私たちは自分たちの小学上級科クラスを眺めてみましょう。毎日曜日、私たちの前にすわっている

生徒たちの中には、未開発の資源がないでしょうか？ 独創的で熱心な音楽の参加を私たちは求めたでしょうか？ それとも、生徒たちが聞いている間、私たちが語っただけでしょうか？

この章では、授業に変化を加えるというテーマを引き続き扱います。私たちは、学課を教える際に生徒たちを活発に参加させることによって、変化に富ませようと努めるのです。

生徒参加の利点

一、生徒たちは自分で参加する時にはよく覚える

次の表は、教え方が変わるにつれて学習効果が増していく興味深い進展ぶりを示しています。生徒が何かについて聞くだけの場合、習得率は最低です。しかし生徒が授業で何かを行なった場合、最高率で習得がなされています。

生徒の活動

習得率

聞く

一五—三〇パーセント

見る

二五—四〇パーセント

聞いて、見る

六〇パーセント

聞いて、見て、その後

その原理を話し合う 七五パーセント

その原理に基づいた

行動をする

九五パーセント

もし私たちが生徒に救霊者になってほしいと望むなら、彼らにこの真理を話すだけではいけないということ、この表は示してくれます。私たちが教えた真理を実行できるような手段を生徒に提供してあげなければなりません。受け持ちの小学上級科のクラスに、友だちと一緒に恵みの座で祈ることを教え、生徒たちを戸別訪問に連れて行く教師はただ話をするだけの人よりも、はるかに効果的に救霊について教えているのです。一人の少年が主に導かれました。そして今日ではキリストのために生きています。それは、一人の小学上級科の少年が伝道会の時に語りかけ、一緒に前に出てくれたからなのです。

二、生徒たちは休まないで出席するようになる

なぜ、生徒たちはあなたの日曜学校クラスにやってくるのですか？ 大抵の場合、私たちは立ちどまっ

て、なぜだろうと考えません。ただ、何の理由にせよ、生徒たちがそこについてくれることを感謝するだけです。けれども、クラスが楽しいから、自分がとても興味を持っていることを学んでいるから、という理由で生徒がやってくる時には、主は一層効果的にその生徒の魂を捕えることがおできになるのです。授業に参加する生徒たちは、クラスの持っている本来の価値のゆえに、一層関心をいだくのです。私たちは賞罰やコンテスト、その他外面的に考案したものを軽んじたことはありません。これらは小学上級科の子供たちには特に価値があり効果的なのです。けれども小学上級科の生徒が学課に純粹な興味をもってやってくる場合には、はるかに学習しやすい状態にあることとなります。その上、その子供は何かあっても日曜学校から離れることはないでしょう。欠席者の問題は、自分のクラスに本当に興味をもつ時に自然に解決していきます。

三、生徒は、自分たちが授業過程に参加する時、一層、そのクラスの一員であることを自覚する

あなた自身の経験のことを考えて御覧なさい。あなたは、日曜学校の働きに実際に活動するようになった時、態度に変化がありませんでしたか？ 大抵のクリスチャンは変化するのです。日曜学校を教えた時、あるいはなんらかの方法で助けたりすることによって、教会の伝道活動に活躍するようになると、自分たちの教会に対して一層親近感を覚えるのです。傍観者だった頃は、教会を有難く思っていました、

自分が活動的役割りを果たした時のように親密に教会を自分のことと見なしてはいませんでした。生徒たちも同じです。子供たちは、日曜学校の授業に参加する時、日曜学校に更に強く結びつけられていることを感じるのです。

生徒を参加させる方法

何事でもそうですが、生徒の参加を成功させようと思ったら、注意深く計画を立てねばなりません。次にあげる教育方法は、生徒各人が自分の活動を学課の目標との関係を理解できるように、その学課に適用されなければなりません。ただ単なる参加だけでは十分ではないのです。

一、課題

小学上級科の子供たちが次の日曜日に準備してくるよう、簡単に明確な課題を作ってください。子供たちが何をしてくるべきかをちゃんと書いた文書を準備してください。課題は小学上級科の子供にとって興味深いもので、応答を引き出すものでなければなりません。次の日曜日に、必ずその宿題を要求するようにしてください。子供にとって一番がっかりすることは、宿題をやってきたのに、先生がそれを忘れてい

二、インスピレーションの時間

小学上級科の中では一番年下の子供でさえ「インスピレーション」を面白がります。この方法の簡単なものは次のように行なわれます。教師は子供たちに、クラスがどうしたら新しいメンバーを獲得できるか、できるだけ沢山のアイデアを出してほしいと申し渡します。教師はクラスを二つのチームに分け、どちらのチームが一番多く提案することができるか調べたいと言います。更に、提案のできる時間はたったの三分間だということを強調しておきます。どんなアイデアでも、その時にはどんなに愚かしく聞こえようとも、受け入れられるのです。教師は時計を取り出し、「始め」の号令をかけ、生徒たちから提案が出たら、できるだけ早く黒板に書きます（チーム名の下にそのチームの出した提案を書き入れていきます）。三分たったら、ストップをかけ、提案の数を数え、インスピレーションの時間の勝利者の名を呼び上げます。次に、出されたアイデアを評価します。どんなに多くの新しい考えが出るか、あなたはびっくりすることでしょう。もちろん、これらの提案の多くは役には立ちません。けれども、収穫の多いものも幾つかあって、あなたのクラスを発展させるための実際の行動に結びつけることができるでしょう。

三、問題解決

子供たちに、クリスチャン生活における問題を解かせましょう。あなたは教師ではありませんが、あなたの生徒たちは、小学上級科の子供の人生観に対して特別な理解をもたらしてくれる貴重な存在なのです。あなたが思いもしない、また、自分では発見できないような、クリスチャンの行動に関する問題の知識や洞察力を生徒たちは持っているかもしれません。

では子供たちに解決してもらう問題をどこで見つけるのでしょうか？ 一つの出所は生徒自身です。生徒に、自分たちの問題を紙に書いて先生に渡すか、箱に入れるようにと励まして下さい。無記名でよいのだと言ってあげましょう。質問者の名前がわからないままであれば、提出される問題はなお一層正直で真実なものになるでしょう。

問題のもう一つの源は、生徒たちを訪問した時のあなたの観察です。彼らが毎日、家庭でどんなことに直面しているのか見て下さい。もし、親たちが救われていなかったり、近所の友だちが教会に来ていないならば、あなたの生徒たちはこうした実際の範囲で問題に直面しているに違いありません。

第三の問題の源は、親たちがあなたに話してくれることです。あなたが親たちと親しくなるにつれて、彼らは、子供たちが何かの点で困難をかかえていることを、しばしば打ち明けてくれるでしょう。こういう問題を用いる場合には、生徒がだれ一人当惑したり、先生は自分のことを言っているのではないかしら

と疑ったりしないように、問題を一般的にするように気をつけて下さい。

問題が解決したら、こう言って直接的な適用ができます。「私たちは、架空のお友だちのためにこの問題を解決してあげましたね。では私たち一人一人がこの同じ答えを、自分たちの出会う問題に使うことができますか?」。これは知識を一般的なものから特殊なものにしますが、なお、どの生徒も自分がクラスで討議の的になったのだと感じないようにしてください。

四、朗詠

この方法は、あなたのクラスが小学上級科や教会のために何かのプログラムを準備している時には最も役に立ちます。朗詠は交読ではありません。聖歌隊の指揮者が聖歌隊を指導するのと同じようなやり方でクラスを指揮するのです。ただ、言葉を歌うのではなく、話すところが違ってきます。明瞭な発音と抑揚が朗詠には特に重要です。グループの指導の仕方については、公立の図書館や学校から、助言を得ることができましょう。子供たちは朗詠のグループに参加するのが好きになるでしょう。この教育方法は、長い聖句を教えるのに特に効果的です(詩篇一一九・一一)。

五、劇

生徒たちが聖書の物語を読んでしまう前にそれを演じるのです。生徒たちに、どんな結末になるかを演じさせて下さい。劇は問題解決のために利用することもできます。生徒たちにある問題を提示し、そのうち二人の生徒に、解決を話し合せて、他の子供たちのためにそれを劇にしてくれるように頼んで下さい。劇はクリスマス時にはよく行なわれる方法ですが、その利用はまぶねの場面や羊飼いたちの驚きだけだけでなく、それよりもずっと広げることができます。

六、ゲーム

霊的真理を教えるのにゲームが利用できるでしょうか? そうです、確かにできるのです。昔からある「綴り字遊び」をあなたの教室の状況に合わせて用いてみて下さい。生徒を一行に並ばせ、今までの聖書の学課に関する質問をします(教案の中に出てくる質問がとてよい)。そして答えられなかった生徒たちは脱落しなければなりません。これは生徒たちにとってはゲームですが、同時に重要な聖書の真理を復習していることになるのです。

七、祈りのグループ

クラスを一つか二つの祈りのグループに組織し、そのメンバーに、祈りの答えがはっきりわかるよう

な、特別な題目のために祈るように頼みます。たとえば、もしあなたのクラスが九名のメンバーを得ようと努めているなら、自分たちの祈りが答えられた時、つまり、クラスが九名に達した時には、生徒たち全員がそれとわかるのです。けれども、もし彼らの祈りが、たとえば世界平和というような、何か一般的で広い主題に関するものであったら、すぐには答えを見られないでしょう。一般的なことのためにも祈るよううにグループを激励すべきですが、子供たちが自分たちの題目を書き込み、日付を記し、それから、それが答えられた日付を書き込めるように、明白な求めを含むようにして下さい。

八、研究課題

上手に調整されたクラスの研究課題は非常に興味深い仕事になります。全生徒一人一人にその研究課題における特別な責任を与え、どこで情報あるいは材料を手に入れることができるかを教えてあげましょう。そしてクラスが実際にその課題を行なう前に、それを忘れないよう注意しておきましょう。この三つのことをすれば、あなたの研究課題はうまくいくはずで、研究課題の一例をあげれば、キリスト時代のパレスチナの家の模型を作ることなどです。まず最初にこの主題を十分に研究しなければなりません（ここで聖書辞典が大いに役立ちます）。それから生徒一人一人に、自分が責任を持っている部分を持ってさせます。土曜日の午後には模型を組み立て、次の日にそれを展示しましょう。

九、監督の下に行なう勉強

小学上級科の子供たちに、日曜学校で勉強するように期待するのは行き過ぎでしょうか？ しかし時には、教師の監督のもとで勉強するのも有益です。生徒たちが生徒用の教科書を読んでこなかったと仮定しましょう。（あなたのクラスが必ず予習をしてくるなら、来週の学課でも良いのです）。学習技術を向上させる次の五つの原則を生徒に教えて下さい。次にあげる原則は健全な教育原理に従ったものですから、これに従えばあなたの愛け持つ子供たちは、日曜学校でも普通の学校でも更に良い生徒になることができますでしょう。

1、第一に、教科書の見出し全部に素早く目を通すこと。そしてそこに書かれている主な思想は何かを見つけ出し、その順序に気をつけるのです。

2、第二に、最初の見出しに戻り、それを質問の形で読んでみます（たとえば、見出しが「アブラハムのふたごの孫」ならば、それを「アブラハムのふたごの孫はだれでしたか」と読むように頭の中で変えるのです）。この方法は生徒に探求しようとする態度を持たせ、自分が何の目的で読んでいるのかを悟らせます。

3、第三に、質問の答えを捜しながら、見出しの次にある小さな区分を読むこと。

4、第四に、質問の答えを（教科書を見ないで）記憶によって書くこと。
5、第五に、このようにして、その学課全体を読んでしまったら、その中に展開されていた要点を全部覚えるようにします。もし教科書をちょいちょい見なければならぬなら、そうしても構いません。

一〇、あかし（証言）

個人的なあかしが、生徒の参加する教育法だとあなたは思ったことは今までにないかもしれませんが、あかしは実際にこの目的にかなっているのです。あかしをする生徒は自分が授業に役立っていると感じますし、その子供の個人的経験を聞く生徒たちは、実際のクリスチャン生活の大切な教訓を学んでいることになるのです。生徒たちからあかしを聞く機会をしばしば持って下さい。

あなたは小学上級科クラスの教師ですが、実際は子供たちのために働いているのだということを記憶してして下さい。子供たちがあなたのために活動していません。あなたの目的は、子供たちが神様のみ言葉に関する真理を発見できるように学習環境に導いてあげることです。生徒たちが自分で発見できることをあなたから言っただけではありません。また彼らの意見を聞くことを恐れてはいけません。授業の中で生徒を用いるのを恐れないで下さい。

問題

- 一、授業に生徒を参加させる三つの理由は何ですか？
- 二、最大の習得率があがるのはどんな教え方をした時ですか？
- 三、小学上級科のクラスで、インスピレーションの時間がどのように役立つかを述べなさい。
- 四、子供たちが解決の手つだいをすることができ、実際的な問題を見つけた三つの源をあげなさい。
- 五、朗詠と交誼の違いは何ですか？
- 六、学習技術を向上させる五つの原則は何ですか？

第八章 生徒の啓発

聖書学校の若い卒業生が特別講師として紹介されました。会衆の中の一人が奥さんの方に身を寄せて、「あれは、わしの子供なんだよ。あれが子供だった時、わしが教えたのさ」とささやきました。

その会員は若い説教者とは、親子の関係があるわけではありませんでした。けれども、その青年は昔、この老人が教えていた小学上級科のクラスの一人だったのです。ですから自分の子供だと言ったのです。

あなたの昔の生徒がキリストにあって成長し続け、ついには有益なクリスチャン奉仕者となるのを見ることにまさる感動的な経験は他にあまりありません。

この章はもっぱら、生徒たちを啓発するという主題、つまり、主の再臨が遅れるなら、将来成熟した価値あるクリスチャン奉仕者を作りあげるような特質を、小学上級科にいる間に生徒の生活の中に築き上げるということを扱っております。この章の目的を正しく理解するためには、現在の教室の状況を越えて、生徒がいつの日かなってくれると思われる姿を見なければなりません。生徒が今、現わしている、能力、

奉仕、態度は一生続く技術と習慣の胚芽なのです。生徒たちに正しい技術と能力を教えること、彼らを有意義な活動と奉仕にふれさせること、彼らに教会との一体感をもたせること、及び彼らの中に正しい態度をはぐくむことなどの重要性は、この生徒たちがやがておとなとなってキリストに奉仕する日を思い見る時、明らかになります。

私たちは皆、目先の問題と困惑から目をあげて、はるか将来の目標を仰ぐことが必要です。この章は私たちがそうするのを助けてくれるでしょう。

技術と能力の啓発

一、自己を表現する能力

小学上級科の生徒は教室の授業に参加することによって学課を一層よく学ぶかもしれません。けれども同時にその子供は、後の生涯において更に重要なもの、すなわち、自己を表現する能力を学びとるのです。小学上級科の子供たちには自己表現の訓練が必要なのでしょうか？ しばらくじっとすわって子供たちのおしゃべりを聞いて御覧なさい。そうすれば、子供たちにはこれ以上教える必要はないと、あなたは感じるようになるでしょう。しかし、先に目をやって、キリストとの個人的経験を人々に語ろうとしてい

る成長した彼らの姿を想像して御覧なさい。キリストこそ自分の生涯で最も大切なお方であることを説明しようとして、しどろもどろになっている婦人の姿を想像して御覧なさい。他の事に関しては自由に話すことのできる人々が、宗教的な問題に関して自分の気持ちを表現しようとする時には舌が動かなくなってしまうことが多いようです。

日曜学校の討論に参加する機会があれば、その子供は、靈的なことを話すのが達者になります。決して自分の意見を言い表わさない子供をあなたはよく見守っているべきです。そしてその子供を引き出して、話す機会を与えるように努めて下さい。あなたが今、その子供を助ければ助けるほど、彼は将来キリストのために役立つようになるのです。

二、読んでいる内容を理解する能力

前章で論じた、監督の下における学習は、小学上級科の子供が自分の読んでいることを理解するという大切な能力を発達させる助けとなります。ある生徒がいつも学課を理解しない時には、その子供に特別な注意を払って下さい。その子供は教室では何の騒ぎも起こさなかもしれません、あなたは、クラスを静かにさせておくという使命よりもはるかに大きな使命を持っているのです。あなたは、神様が生徒一人一人の生涯と人格を形作るのを助ける仲介者として立っているのです。生徒が割り当てられた仕事からし

りごみしたり、学課を理解できないで見たら、その子供が自分の読むものを理解する能力を身につけるように手助けをしてあげて下さい。

「でも、それは普通の学校教師の仕事ですよ」と、ある日曜学校教師は言いました。そうなのでしょうか？ 多分、あとになれば、普通の学校教師がその生徒を助けるでしょう。しかし、「ぼくは日曜学校の先生にとっては大切な存在なんだ」という意識を生徒に植えつけることはすばらしいことなのです。生徒の能力に関する責任を全部世の教育者にとらせる小学上級科の教師は今日までこの機会を見落としてきたのです。

私たちは小学上級科の子供たちを、成長し、変化し、形ができていつある人格として、また、私たちの指示と影響に応じてどうにでも曲がる人格として、眺めなければなりません。私たちは、小枝を曲げることによって、「木を傾ける」すばらしい機会を持っているのです。

三、指導に従う能力

私たちは、生徒たちに対して不可能な標準を置いてはなりません。彼らが従うことのできる指示を与えるようにしなければなりません。そして生徒が指示に従えなくても叱ってはなりません。叱るのではなく、従うことができるようになり、また従おうとするようになるまで、生徒を動かそうとし、忍耐強

く、また知恵を働かせて導かなければなりません。従順はクリスチャン品性の太い根の一つなのです。もし教師の指示に従うことをさして重要でないかのように振舞うなら、私たちは生徒を見離すことになりま

四、独創的に考える能力

キリスト教の指導者は、自己の才能をキリストのためにささげた独創的な人々の中から起こります。すべての指導者が独創的であるとは限りませんが、独創的な人物が献身したキリスト教指導者となる時には、非独創的な人よりも神様の栄光のために多くのことを成し遂げる見込みがあります。独創的な努力をするように勧められている生徒たちは、なお一層多くのことをするでしょう。無視されたり、ばかにされたりしている生徒たちは、独創的能力を他の方面に向けるようになるでしょう。生徒に自己を表現する機会を与えるような教え方をするによって、小学上級科教師は独創的表現を養うおせん立てをすることになるのです。

有意義な活動への参加

生徒を啓発するために、私たちは彼らが技術と能力を伸ばすのを助けてあげなければなりません。また、子供たちのために、有意義な活動や奉仕を備えてあげることによって、彼らの能力のはけ口を与えなければなりません。

小学上級科の子供たちには、ある種の活動はできません。小学上級科の男の子に教会の夕拝で説教することを期待する人はいないでしょうし、聖餐式の手つだいをすることも、適当ではありません。けれども、教えられたことを実際に行なう機会となる、すばらしいクリスチャンの奉仕の道は、沢山あるのです。

一、小学上級科の活動への参加

科の開校礼拝を、生徒が何らかのかたちで参与するように計画して下さい。子供たちは、聖書を読むこと、楽器で特別の曲を演奏すること、祈ること、暗唱聖句を言うこと、歌の本を配ること、献金を集めることなどができます。

二、親睦的活動の計画

小学上級科の子供たちがしばらくの交わりのために一緒に集まり、適当な礼拝のプログラムでしめくくすることは、靈的でないと非難されるようなものではありません。目先を変えるために、日曜学校の学課に調和した親睦的活動を子供たちと一緒に計画して御覧なさい。たとえば、学課がドルカスに関するものである時には養老院を訪問し、そのあと、生徒の家でお茶菓子をつまみ、礼拝をする、という計画を立てるのです。パウロの伝道旅行に関する学課の時には、パウロの訪れた主な場所の名をあげる世界一周ゲームをして御覧なさい。

こうした活動を計画する際には、子供たちに活動的役割りを務めさせて下さい。活動を計画し、その活動に関する情報を聞き出し、新しい人々を招き、関係者たち（養老院、接待主など）と打ち合わせをし、礼拝の部で話をする人を決めておくことなど、正しいやり方をするように子供たちを指導して下さい。

一言、注意しておきたいことは、どんな活動のあとにも必ず礼拝の時間を持つということです。けれども、それを長い、あるいは「お説教じみた」ものにしなさい。共に交わりを持ったあとでは、直接的で要点をついた、短い五分間ほどの話が、子供たちをキリストに導くことができます。子供たちの靈的必要を満たす、このすばらしい機会をのがさないようにして下さい。

三、教会活動の手つだい

小学上級科の子供たちは説教をしたり、聖餐式の奉仕をしたりはできませんが、教会で、聖歌を渡したり、親たちと一緒に教会にやってくる子供たちにあいさつしたり、芝生刈りを手伝ったりすることはできます（小学上級科の子供に少年少女たちにあいさつさせることを考えている教会が幾つあるでしょうか？新しい家族を迎えるためには大抵おとながひとり教会の玄関にいます）。もし、小学上級科クラスが何か手つだいをしたいと思っていることがわかれば、牧師は喜んで、彼らにできる活動を教えてくれるでしょう。その場合でも彼らの手つだいを、教師たちは、しっかり監督しなければなりません。小学上級科の子供たちは「やりたい」という段階にはすぐに行きますが、「いかにして行なうかを知る」という人

生段階にはまだほとんど到達していません。
小学上級科の子供たちにとって意味があり、また能力の範囲内にある活動と奉仕を更に見つけるために、子供たちとインスピレーション遊びをして御覧なさい。きっと沢山の良い考えが出てくるでしょう。

教会との一体感をもつこと

私たちは生徒に、キリストに仕えなければならぬことを、しばしば語ってきました。けれども、この

奉仕は普通、教会が準備する協力的な方法によってなされることを、子供たちに話すのを時々忘れてしまっています。たとえば、宣教師になりたがっている子供は、自分が、アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の海外宣教師の任命のもとで、外国の宣教師地へ行くことになるのだということを知らなければなりません。大きな協力的活動の中の一人の宣教師として行くことは、教会を離れてする孤独な、一個人の努力よりも、多くの点で有利であることを悟らなければなりません。そういう宣教師は一層効果的な働きができるのです。それは物資の貯蔵所と祈りの仲間を持つことになるからです。また、彼の伝道による回心者たちは、直ちに頼りになる交わりを持つことになるのです。

教会との一体化を達成する方法は幾つかあります。

1、生徒に彼らの教会の歴史、すなわち、その教会はどのようにして始められ、成長したか、を話してあげてください。初期の指導者たち数人の名も教えて下さい。

2、子供たちに、アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の歴史を知らせて下さい（これに関する資料はアッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の本部から手に入れることができます）。

3、もしあなたの教会に、子供の会員を認める規定があるならば、キリストを救い主として受け入れた小学上級科の子供たちに、教員となるように励まして下さい。

4、子供たちに教会が行なうさまざまな活動を知らせて下さい。教会の主な部から、だれか責任者を呼

んで、生徒に話をしてもらうのです。たとえば、刑務所伝道所の費人者、婦人会の指導者たち、C・Aの代表者、壮年会の会長、その他、教会のさまざまな活動を代表する人たちです。

5、彼らが教会と一つにされていることを誇らしく感じるようにさせて下さい。それは、あなた自身、誇りを持ち、あなたがどう感じているかを生徒に示すことによって、伝えることができます。この「誇り」は実は尊敬を意味するのです。教会や牧師の信用をそこなうようなことを言ってはなりません。

正しい生活態度を身につけること

あなたが、小学上級科のクラスに対してなすことのできる最も大切な貢献の一つは、子供たちが人生に對して、クリスチャンとしての正しい態度を身につけるのを助けることです。もし彼らが立派なクリスチャン奉仕者へと成長するとしたら、正しい態度を今、学ばなければなりません。興味深いことですが、雇主が従業員を雇ったり解雇したりする時に、最も重大な要因とみなされるのは彼らの態度だということです。従業員の態度の方が彼らの技能よりも大切なのです。首になった従業員の九〇パーセントは態度が悪いため解雇されたということがある研究の中で示されました。一〇パーセントだけが無能力だという理由で首になったのです。小学上級科の生徒の中には三つの主な態度が、育てられなければなりません。

一、権威を重んじる態度

ある父親は自分の子供たちに権威をないがしろにするようにと教えました。理由は何でしょうか？ 彼は、子供たちが世に習わないように、非国教的となってほしかったのでした。しかしあとになって、彼は、自分が教師や牧師に向けて育てたはずの不敬の念が、自分自身に向けられているのを見てうろたえました。その子供たちは、父親の権威をも含めて、一切の権威を重んじないようになつたのです。

権威と訓練（しつけ）は必要です。またそれは聖書的です。ローマ人への手紙第一三章一節を見て下さい。私たちは、不従順やわがままを奨励される必要などないのです（エレミヤ一七・九、マタイ二三・二五、マルコ七・二一、ヘブル三・一二、ペテロ二・一四）。

生徒たちに、弟子となるためには訓練されなければならないことを説明して下さい。小学上級科の子供たちは「訓練される」という言葉は理解できませんが、自分たちは、神様と両親だけでなく、教会の規則にも従わなければならない、という考えは理解できるはずです。

あなたの牧師のことを、いつも「…牧師」あるいは「…先生」というように呼んで下さい。子供たちの前で、牧師をなれなれしく呼んではいけません。もし生徒たちが牧師を「…さん」というような呼び方をしたら、これは適当な尊敬を表わしてはいないのでと説明しましょう。牧師が子供たちの目にあまりにも高貴な方になり過ぎないかと心配しないで下さい。小学上級科の子供たちは英雄が好きだということを思

い出して下さい。そして彼らの英雄が今、人気のホームラン王ではなく、牧師であるように導いて下さい。

二、奉仕の特権に対する感謝

私たちはクリスチャンとして、キリストに仕えるという素晴らしい機会を持っているのだという態度を養いましょう。キリストに仕えなければならぬ、という考えは避けて下さい。神様は、救いのメッセーヂを伝えるのにみ使を任命しようと思えば、おできになったのです。けれども神様は、人々にキリストを語るという輝かしい機会を人間に——子供たちにさえも——お与え下さいました。生徒に、牧師あるいは宜教師になることは、最も崇高な奉仕であることを感じさせて下さい。それは確かにその通りなのです。

三、信頼に足る人になりたいという願い

自分の仕事をした生徒をほめてあげましょう。時間通りに来る生徒、持って来ると約束した物をちゃんと持って来る生徒を、みんなの前でほめてあげましょう。そうして生徒の中に、信頼できる人になりたいという願いを育てて下さい。

信頼できるという問題を正しく教えるためには、あなた自身が教師として、信頼できる人でなければなりません。生徒はあなたをじっと見て、多くを学ぶのです。もし、あなたが当てにならない人なら、そしていろいろな活動を約束しておきながら、少しもそれを行わないなら、生徒たちはあなたにならうようになるでしょう。もし、消防夫が当てにならないければ、私たちの家は燃えるかもしれません。もし、警察官が頼りにならないければ、犯罪は増加するかもしれません。日曜学校教師が頼りにならない時には何が起るでしょうか？ 火事や犯罪と戦うことは大切なことですが、失われた魂を救うという働きはこれと比較にならないほど大きな務めなのです。

生徒の心に、信頼に足る人になりたいという願いを築くことができるように、神様の助けを求めて下さい。

ここまで私たちは、生徒を将来において有益な人にする方法を調べてきました。生徒を成長させるこれらの方法を学んでいくと、私たちには次のことがわかってきます。つまり、たとえ、教室での授業一つ一つがうまくいっても、生徒が技術と能力を伸ばし、有意義な活動に参加し、教会との一体感を持ち、正しい態度を身につけていく、というところまで、導かなければ、私たちは、教えるという仕事を十分にしているとは言えない、ということなのです。

- 一、なぜ、教師は小学上級科の教室を越えて、将来を見なければならぬのですか？
- 二、小学上級科の生徒はどんな能力を伸ばしていくべきでしょうか？
- 三、なぜ、教室で騒ぎを起こさない生徒でも問題児になることがあるのですか？
- 四、なぜ、小学上級科の子供たちには活動が必要なのですか？
- 五、小学上級科の子供たちにとって有意義な活動を幾つかあげなさい。
- 六、活動の良い源泉は何ですか？
- 七、小学上級科の子供はどのようにして、教会との一体感を身につけることができますか？
- 八、アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の歴史に関する情報はどこで手に入れることができますか？
- 九、小学上級科の子供はどんな生活態度を育てるべきでしょうか？

第九章 生徒の獲得と維持

少年の涙によれた両のほほは彼の体験した救いの感動を物語っていました。彼はたった今、小学上級科の特別決心日の最後の時に、キリストの救いにあずかったのです。けれども彼は、涙のほかに何かで、自分の体験を語りたいたいと思いました。あかしの機会が来た時、彼は立ち上がって、こう話し始めました。

「これはみんな、ぼくが日曜学校へきそわれたおかげなんです」。

彼のあかしには、もっと多くのことがありましたが、この短い言葉が訪問、すなわち、人をたずねて、日曜学校へ招くという働きを持つ大きな価値を証明しています。

小学上級科の教師にとって、訪問は普通、二つの主な部類に区分できます。つまり、教師の訪問と生徒の訪問です。教師の訪問とは、教師自身がする訪問という意味です。生徒の訪問とは他の人たちを訪問するのに生徒自身が果たす役割りのことです。

教師の訪問

「どうしてわたしが訪問しなくちゃならないんですか？ わたしはクラスを教えています。それで十分じゃないんでしょうか」と、ある教師は尋ねました。

多くの小学上級科の教師は、直ちに声をそろえて「もちろん、それだけでは十分ではありませんよ」と言うことでしょう。けれども、同じ位多くの教師が、生徒を訪問するのは大切だと知ってはいても、自分たちにはそうする時間がないのだ、と告白しなければならぬかもしれません。これらの教師たちは、善意の人々ですが、自分たちが教えていることを実行していないのです。それは大抵の場合、訪問の重要性が本心にわかっていないからです。

訪問の見本は聖書の中に見いだすことができます。キリストの伝道は訪問伝道、失われた者を捜し出す伝道でした（マタイ一八・一一）。失なわれた羊の例話は、訪問伝道の核心を示す例話です。ルカによる福音書第一章三七節の記事をもう一度読んでください。羊が迷い出て死に向かっているというのに、何もしないですわり込んでいる羊飼いがいるとは考えられません。キリストなら、自分のクラスの者たちが罪の荒野にさまよっているのに、家ですわっていらっしやることはなかったでしょう。キリストの福音を

教える者たちもそんなことはできません。私たちは訪問しなければなりません。

日曜学校から迷い出てしまった子供たちの家に行くことや、近所の新しく来た子供を訪問することは、子供たちの魂に対する私たちの関心の実際的表現にすぎません。私たちは、本当に大切だと感じていることをする場合にはそのための時間を見つめます。もし、私たちが訪問が非常に大切なことであると確信するならば、扉はひとりで開かれ、時間を見つめることができるようになるでしょう。夜、眠りにつく前に、最近日曜学校を休んでいる生徒のことを考えてみましょう。更に考えを押し広げて、まだ日曜学校に来たことのない子供たち、あるいは、かつて来ていたけれども、もう長い間来なくなっている生徒たちのことも思って下さい。これらの子供たちのために祈り、それから、神様があなたに、こうした子供たちを訪問する時間と機会を与えて下さるように祈るのです。神様があなたの祈りに答えられ、訪問の機会が与えられたら、直ちにそのチャンスを利用して下さい。

訪問は効果があるから重要なのです。訪問によれば、ほかの方法では接することのできない人々を、助けることができるのです。あなたが時間をとって訪問する時、生徒はあなたの友だちとなり、あなたに打ちとけ、自分たちの悩みや希望を話してくれるでしょう。また、彼らのおかげであなたは彼らの必要としているものを一層よく理解できるようになるでしょう。訪問に費した一時間は浪費ではなくて投資なのです。それは学課の準備に費す一時間にまさるとも劣りません。そればかりか、訪問によってあなたも、

またあなたの生徒たちも両方共、次の日曜の学課に対して備えができるようになります。

あなたはあなた自身訪問によって利を得ると思います。家から家へとはいって行き、あなたの生徒たちが一日の大部分の時間を過ごす家と家族とを見ると、あなたの理解の範囲は当然広がっていくでしょう。家庭の中に罪の結果を明白に見る時、あなたは罪の恐ろしい姿に直面するかもしれません。アルコール中毒の父親のいる家庭を訪問して見る時、酒の問題が正しく理解できません。生徒がどんな子供であるかを正確に発見しなくては彼らの必要に十分に応じることができませんから、訪問することが絶対に必要なのです。神様は、この現在の世からかくまわれて住む象牙の塔へ、私たちを召されたものではありませんでした。主はこう祈られました。「わたしがお願いするのは、彼らを世から取り去ることではなく、彼らを悪しき者から守って下さることであります」(ヨハネ一七・一五)。キリストは私たちが世から取り去られることを望まなかったのにもかかわらず、私たちの多くの者は、訪問伝道に従事することを拒み、現実の人生との接触をしないようにしてきたのです。私たちは、「出て行って…無理やりにひっぱってきなさい」と命じられているのです(ルカ一四・二三)。

訪問する時

1、新しい一家が近所に転居してきた時には、その家を訪れる最初の人となって下さい。牛乳屋、新聞配達、洗濯屋、保険のセールスマンなどは皆、すぐに新しく来た人を訪問するのです。ところが、王の王たるお方の代理人はどうでしょうか？ その答えは日曜学校教師各人がしなければなりません。引越しに注意し、彼らを訪問して日曜学校へさそうのはあなたの仕事だと思って下さい。

2、生徒がクラスを休んでいる時には、至急、訪問して下さい。欠席には多くの原因があります。そのうちのひとつも無視しないようにして下さい。あなたのクラスの欠席者こそ訪問の第一の目標です。その生徒はすでに日曜学校に来ていたのですから、幾分か関心は持っていたのです。日曜学校と主イエス・キリストに対するその子供の消えかかろうとしている関心を再び燃え立たせるために必要なのは、恐らくあなたの側の少しばかりの関心なのです。

3、生徒が病気の時には、訪問しましょう。長居してはいけません。いつでも日曜学校の新聞をその子供のところに置いてきましょう。聖書の短い部分を読んで祈ってあげて下さい。その子供はそれをとても感謝するでしょう。そしてあなた自身神様が望んでおられるような教師になれるのです。なぜなら、あな

たは「群れ」の一匹に気を配ったことになるからです（使徒二〇・二八参照）。

4、靈的な問題で生徒たちが悩んでいる時には、訪問して、助けの手をさしのべて下さい。こういう問題は、もっと年長の生徒の場合と違って、不信仰や懷疑主義として現われることはあまりありません。小学上級科の子供たちの問題は、孤独、心配、反抗、不きげん、となって現われます。小学上級科の子供たちは日曜学校の教師を非常に尊敬します。ですから家庭訪問は今後一生の間、子供に影響を与えることができます。愛と情を小学上級科の子供たちに注いで、無駄になることはありません。

5、生徒がきちんと来ている時にも、訪問して下さい。何かがうまく行かない時だけ訪問する教師は、あやまちを犯します。ある子供などは構ってもらいたくて、日曜学校を休むほどなのです。忠実な生徒たちに、家庭訪問をして報いてあげましょう。

訪問と言うと時間がかかるかのように聞こえます。でも、途方もなく多くの時間をとるものではありません。週に二時間訪問のために費そうとするなら、要求されていることを全部、満たすことができるでしょう。

訪問の方法

訪問は、家に人をたずねて行くことだけであるかのように、私たちは今まで論じてきました。しかし生徒に接する方法は他にもあるのです。そして、ある場合には、これらの方法を取り合わせた方が、一つ型の訪問よりもまさっています。

一、電話

電話をかけることによって、生徒を「訪問」することができます。小学上級科の子供は教師から電話をかけられると、とても喜びます。生徒が電話口で落ち着きを失っていても別に驚くことはありません。ぶつぶつ小声で言ったり、「うん」、「はあ」、などと言って応答するばかりかもしれません、内心は興奮しているのです。電話をかけることは、時間の節約になる訪問方法です。ある東海岸地方の町で、五万七千以上の家庭が電話を受けました。有志の者たちが一人当たり二十五回の電話をかけ、戸別訪問をするよりもずっと早く、その計画全体を成し遂げたのでした。電話を利用して下さい。その際生徒があなたの言うことをはっきり理解できるように、注意深く発音するようにして下さい。生徒は電話を使うのにまだ

慣れていないからです。

二、カード

個人的な方法によらない生徒との接触方法の一つにカードを送ることがあります。小学上級科の子供たちは受け取ったカードをためておきますし、それらを壁に貼りさえします。私たちは皆そうですが、子供たちも、郵便物を受け取るのがうれしいのです。

三、手紙

短い手紙も、また生徒たちを感動させます。小学上級科の子供が一年間に受け取る手紙の数は、大抵の場合、非常に少ないのです。あなたが手紙を出すことによって、生徒はあなたを、特別の部類の人の中に入れてくれるでしょう。あなたの休暇の時、あるいは子供たちがどこかへ行っている時などに、手紙を書いてあげて下さい。こうすることによりあなた方が離れている間にも、つながりが保たれるでしょう。

訪問した時にすべきこと

教師が生徒の家を個人的に訪問した時には教師は何をすべきでしょうか？ その第一の答えは、思いやり深くなれ、ということですが、自分が訪問されたいと思うようなやり方で生徒を訪問して下さい。この訪問の「黄金律」は実に効果的なものです。これはあなたの生徒にも、また、あなたがキリストに導きたいと願っている、子供の親たちにも、効果があるのです。

一、正しい時間を選んで訪問すること

丁度食事の時にいったら、あまり歓迎してもらえないでしょう。来客がある時、あるいは、家族お気に入りのテレビ番組が始まったばかりの時にいっても、あなたの訪問は成功しないでしょう。行く前に電話をする習慣をつけるのが良いと思います。短時間しか滞在できないけれども、近くまで行くので、立ち寄りたいのだと説明しましょう。いつ頃が一番都合がよいのかを、親に尋ねて下さい。

二、微笑

あなたは内心びくびくしているかもしれませんが微笑して下さい。気分がすぐれないうちかもしれませんが微笑して下さい。今しがた訪問した家で、ひどく失望したところかもしれませんが、とにかく、微笑することです。あなた自身、暗い憂うつそうな顔をした人に訪問されたいと思いませんか？ 暖かい、親しみのある微笑は、それ自体で、一つのあかしなのです。

三、訪問する相手に関心をもつこと

生徒の親たちに話をさせて下さい。またあなたの生徒に、学校はどうか、と聞くのです（ちょっと口で言って、それから、「まあまあです」と言うことでしよう）。あなたの生徒やその親たちのもっている魅力的なものに注意して下さい。他の人たちが重要だと感ずる事柄にも気が付くように自分を訓練して下さい。そうすれば父親が芝生の世話が非常に大事だと考えている時に、それがわかるようになります。その世話の行きとどいた庭について一言ほめて上げましょう。もし、あなたがこの子供たちの親だったら、どんなものに興味をもつでしょうか？ この問いの答えは注意深く見回すことによって、見つけることができるのです。

四、生徒に何か持っていてあげること

もし、相手の子供が日曜学校に来たことのない子供なら、家へ持ち帰る新聞を持っていてあげましょう。もし先週の日曜日に休んだ子供なら、その時にもらえなかった新聞をあげて、うめ合わせをしてあげましょう。あなたのクラスに特別の研究課題か宿題があれば、彼がもらわなかった割り当てを与えましょう。学課に参加するために、その生徒は次の日曜日にきつと戻って来るでしょう。

五、最初の訪問を短時間にすますこと

短く、心楽しく、というのが日曜学校の訪問の原則です。もっとゆっくりしていらしゃいと強いられない限り、訪問は十分間を越えてはなりません。規則的に訪問をする場合には、最初の訪問の際に何もかもすましてしまおうとする必要はありません。

六、あなたの訪問が批判をほめかさないように注意すること

ある人々は日曜学校の奉仕者たちが訪問するのを好みません。それは、教師たちが相手がなまけ者であるかのように感じさせるからです。たとえば、あなたの生徒が日曜学校を数週間休んでも、「日曜学校で、君がいなくてさびしかったよ」などと話しを始めてはいけません。「次の日曜日に、クラスが計画したパ

「ティーのことを君も知りたいだろうと思ってね」というように積極的なものを提供する方がはるかによいでしょう。

訪問の評価

あなたのする訪問と、その結果を記録して下さい。あなた自身に尋ねる質問には、次のものを含むようにします。

- 1、何かうまくいかなかったことがあったらどうか？
- もしあったら、次の訪問の時、それを繰り返さないようにして下さい。
- 2、彼らは「またおいで下さい」と言ってくれたらどうか？
- 多分彼らは考えつかなかっただけでしょう。もしそうでないなら、多分あなたが長居しすぎたか、あまり微笑を見せなかったか、相手に関心をもたなかったからでしょう。何かが間違っていたのです。
- 3、その生徒は次の日曜日に日曜学校に来たかどうか？
- もし来なかったら、もう一度やって御覧なさい。訪問の方法を変えてみましょう。葉書か手紙を出して下さい。けれども、必ずもう一度あなた自身でも訪問して下さい。

4、親たちを何らかの方法で用いることができるだろうか？

日曜学校の活動に親たちを関係させるのを恐れてはいけません。親たちが救われていない場合には、霊的奉仕には参加させることができません。しかし、彼らを用いて、パーティーの茶菓を運んだり、手つだったりしてもらうのを遠慮する必要はありません。日曜学校に親密に結びついていればいるほど、彼らは——そして子供たちも——それだけ一層、規則正しく教会に来やすくなるのです。

生徒の訪問

成功する教師は自分の生徒たちを訪問する教師であり、また、生徒たちを訪問伝道に参加させる教師です。小学上級科の子供たちはこの分野においてすばらしい奉仕者になります。生徒による訪問は教師によるものとは少し違ったもので、あまり公式的なものであってはなりません。

可能性を示すこと

小学上級科の子供たちには、他の少年少女たちを訪問する前に、自分たちの努力は価値のあることであ

り、また効果があるのだと確信させることが必要です。

一、目標を定めること

五人の新しいメンバーがほしいこと、また、生徒一人一人が、出席していない三人の人に接してほしいとあなたが思っていることなどを、クラスに話して下さい。この人数はそれぞれの事情に合わせて決めればよいのですが、大切なことは、あなたの願いがはっきりしていること、明確な目標が定められていることです。私たちは皆、自分に何が期待されているかがわかる時、そのために一層よく働くものです。

二、結果を記録すること

毎週、黒板や図表に、クラスの努力の結果を示して下さい。二つの記録をつけて下さい。何人の新しいメンバーが加えられたかを示すものと、一人一人が何人をさそったかを示すものです。新しいメンバーだけを記録すると、あやまちを犯すことになります。ほかの人たちをさそって、一生懸命やっただけの子供たちは、たとえ相手がクラスに来てくれなくても、その努力を認められることによって報いを受けるべきなのです。

三、競争させること

子供たちの想像力を捕える、興味あるコンテストを考え出して下さい。子供たちはコンテストには頑張りますし、自分たちのチームが勝たなければならぬ時には、一層活発に参加します。負ける人を出さないように注意して下さい。負けても愛想よくしていることは小学上級科の子供たちにはとても難しいことです。一等と、二等または次点者をもうけるのです。勝った人、負けた人、と言うより、その方がずっと聞こえがよいのです。

四、生徒になりそうな人々を示すこと

生徒たちは新しい少年少女たちに接したがるでしょうが、どのようにしたらよいかは、わからないかもしれせん。新しい人々を捕えるための次のような活動を提案しましょう。

1、学校であなたと同じ教室にいる友だちに話しかけなさい。

2、もう一人の生徒とチームを組んで、あなたの近くにある家を一軒一軒訪問しなさい。

3、YMCA、YWCA、ボーイスカウト、ガールスカウト、その他のグループでの友だちを招きなさい。

五、子供たちを同伴すること

家庭訪問をする時に、あなたのクラスの子供を一人か二人、連れて行って下さい。新しい家族を訪問する時には、これが特に良いようです。その新しい家の子供たちは、教会に来た時、すでに教会のだけかを知っているように感じるでしょう。それにあなたのクラスの子供たちもあなたと一緒にきたがると思います。その特権は必ず順に回し、万事を公平にするように気をつけて下さい、子供たちは「先生のお気に入り」ということが大きいです。

結果の公表

クラスのメンバーがあなたの定めた目標に達した時には、その良いニュースを広く伝えて下さい。科の主任にそれを発表してくれるように頼みましょう。一番多くの新しい友だちを連れてきた生徒、あるいは一番大勢の人を連れてきた生徒に名着を与えましょう。もしできることなら、日曜学校だけでなく、教会でも——教会の週報などで——結果が発表されるようにして下さい。あなたのクラスの努力は、他のクラスや科の同じような活動の導火線となるかもしれません。生徒たちに、あなたが彼らを誇りに思っていることを知らせてあげましょう。また、主イエス・キリストは「全世界に出て行って、すべての造られたも

のに福音を宣べ伝えよ」(マルコ一六・一五)とお命じになったことを、はっきり教えてあげて下さい。生徒は、彼らの努力によって、この任務の一部を成し遂げたのです。主は彼らを喜んで下さるに違いありません。

訪問は時間をとりますが、生徒たちが真に必要としているものに対する、より良い理解と、洞察力という豊かな収穫を生みだします。もしこの、しばしば無視されているわざである訪問を実行するならば、あなたは更にすぐれた教師となることができるでしょう。そしてあなたのクラスもはるかに大きなものになることと思います。

問題

- 一、どの例話が訪問伝道の例を示していますか？
- 二、子供たちの家庭を訪問するのが大切な場合を三つあげなさい。
- 三、なぜ、クラスにきちんと来ている子供も訪問すべきでしょうか？
- 四、あなた自身が訪問する以外に、生徒たちと接することのできる方法を三つあげなさい。
- 五、訪問の「黄金律」は何ですか？

六、あなたの訪問が、出席しなかった生徒への批判とならないようにするには、どうしたらよいですか？
七、子供たちを励まして他の子供たちを訪問させるために、なすべきことを三つあげなさい。

第十章 自己評価

自分がどのようにやっているかを知りたいと、本当に思うようになるには、人格の成熟が必要です。多くの人々は、自分自身の正直な評価に面と向かうことができません。立腹した従業員が勤務評定会議から出て行くように、多くの人々は採点されるのを好みません。お世辞を言ってほしいのです。

時には私たちがほめられる場合もあります。けれども、最後の審判の時には、私たちはほめられるに価する場合にだけほめられるのです。もし人が自分自身を深く探るならば、その人は、教えるという奉仕を一層実りあるものとし、自分の能力を拡大することができます。そしてまた最後の日に主から、もっと多くの賛辞を受ける資格を得るのです。

この最後の章には、あなたが自分自身を評価するように多くの質問をあげました。これらの質問に答える際に、自分自身に対して正直であって下さい。もし、他人があなたをどう思っているかを知りたいと思うなら、科の主任に、最後の部分であなたを採点してもらって下さい。けれども、注意していただきたい

いのです。何かの点であなたは改善の必要がある、と言われるのを、喜んで聞く心がないなら、これをして下さい。もし、背中をボンとたたかれてほめられただけなら、最後の部分をやってはなりません。

私の霊的生活は？

- 一、私は個人的に、キリストを救い主として受け入れているだろうか？
- 二、イエス・キリストは私の人生の中で最も大切なお方だろうか？
- 三、私はキリストのためにあかしをしたいと願っているだろうか？
- 四、私は聖霊のバプテスマを受けているだろうか？
- 五、私は毎日、聖書を読んでいるだろうか？
- 六、私は今年、聖書を通読しようと思っているだろうか？
- 七、私は規則正しい祈りの時を持っているだろうか？
- 八、私は、自分のクラスの生徒一人一人のために、毎日祈っているだろうか？
- 九、私は、自分のクラスを卒業した生徒たちのために祈っているだろうか？

一〇、私は、教会のすべての集会に出席しているだろうか？

私の専門的生活は……？

- 一、私は毎年、少なくとも一つの教師訓練講座に出席しているだろうか？
- 二、私は、日曜学校の教師会に全部出席しているだろうか？
- 三、私は一年に四冊、宗教教育、あるいは普通の教育原理に関する本を読んでいるだろうか？
- 四、私は、小学上級科の子供の特徴を良く知っているだろうか？
- 五、私は、生徒の注意をいつも引きつけているだろうか？
- 六、私の生徒は自分たちの成功を私と分かち合っているだろうか？
- 七、私の授業時間に、キリストを救い主として受け入れた生徒があったらだろうか？
- 八、私は、次の週の学課を、日曜日の午後から、あるいは遅くとも月曜日から、勉強し始めているだろうか？
- 九、私は、専門的書物と聖書の参考書を指定されただけ持っているだろうか？
- 一〇、私は教案を手にしないで教えることができるだろうか？

私の態度は……？

- 一、私は、考えることよりも話すことの方が少ないだろうか？
- 二、私は生徒たちがうまくやる時に、ほめてあげるだろうか？
- 三、私は生徒に本当に関心を持っているだろうか？
- 四、私はほがらかだろうか？
- 五、私は他人について不親切な批評をするだろうか？
- 六、私は他人の意見を快く受け入れるだろうか？
- 七、私は、日曜学校教育が世界中で最も偉大な働きであると信じているだろうか？
- 八、私は、問題を持っていてる生徒に対して同情的だろうか？
- 九、私は付加的な仕事も自発的に行なうだろうか？
- 一〇、私の家族は、私を立派な人物だと思っているだろうか？

主任の評価は……？

この部分あなたはあなたの科の主任にやってもらいましょう。もしあなたが喜んで真実を聞くつもりがないなら——あなたの主任は正直に真実を見ますから——どうぞ、主任にこれに書き入れるようにたのまないで下さい。主任はそれぞれ、自分の正直な意見を次に書いて下さい。

- 一、この教師は順応性に関してはどうですか？
非常に順応性がある 、普通 、乏しい 、
- 二、この教師は機敏さに関してはどうですか？
いつも機敏である 、大抵機敏である 、しばしば、のろみである 、
- 三、この教師は獨創性に関してはどうですか？
教え方に大変獨創性がある 、普通 、乏しい 、
- 四、この教師は信頼性に関してはどうですか？
完全に信頼できる 、大抵信頼できる 、滅多に信頼できない 、
- 五、この教師は献身に関してはどうですか？

キリストのために小学上級科の子供たちを教えるという仕事に十分献身している □、普通の献身ぶりである □、あまり献身的でない □

私にできることは……？

神様はすべての日曜学校教師を、主に役立つことのできる立場にお召しになりました。イエス様は弟子たちをお召しになった時、彼らを権力者や、金持ち、あるいは有名人にしてあげるとは約束なさいませんでした。イエス様は彼らを有益な人生へと召し出されたのです。

「わたしはほんのわずかの事しかしておりません」と、ある日曜学校教師は言いました。「わたしのすることは、教室一杯の小学上級科の子供たちを教えることだけです」。

ほんのわずかのこと？ 世の中の偉大なことが偉大であると言えるのは一体だれでしょうか？ これは大したことではない、とだれが言うことができるのでしょうか？ アルベルト・シュヴァイツァーはこう記しています。「我々は、法律、富、組織によって物事を達成しようとする。キリストは人格的影響力をお用いになった」。

すべての小学上級科の教師は、子供たちをキリストに向けさせるのに、人格的影響力を用いるという、

この同じ特権を持っているのです。自分たちの影響がどれほど遠くにまで及ぶか、はっきりつかむことのできる教師は一人もいないのです。

建設主任のメル・ダイナはショー・ヘイブン・ビーチ・クラブでの建設工事を中止しました。それは、一本の木を切り倒さなければならぬのに、その木には、ひなで一杯になっている小鳥の巣があったからなのです。その後小鳥がついに、飛べるほどに成長した時になって、その木は切り倒されました。その巣の内部には子供の日曜学校カードの切れ端が織り込まれていました。それにはこう書いてあったのです。「主は御自分の被造物を、大きいものも小さいものも、お守りくださる」。

主は御自分の被造物を、大きいものも小さいものもお守りくださるだけではなく、すべての献身的教師の努力を、大きいものも小さいものをも見守り、また祝して下さるのです。

「だから、愛する兄弟たちよ、堅く立って動かされず、いつも全力を注いで主のわざに励みなさい。主にあっては、あなたがたの労苦がむだになることはない、あなたがたは知っているからである」(コリント一五・五八)。

訳者あとがき

本書は、アメリカのアッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団日曜学校部が出している *Sunday School Handbook Series* の中の一冊である。このシリーズは幼児科から成人科まで、各科ごとに合計九冊出ている。そのうちすでに幼稚科、小学下級科、中学科の各篇は伊藤顕栄師によって翻訳され、「教える秘訣」として出版されている。今回伊藤氏から依頼を受け、私が小学上級科を翻訳することにより、幼稚科から小学下級科、小学上級科、中学科と揃うことになった。

訳出にあたっては、内容にかなりアメリカ的な部分があるので、その取り扱いに苦慮したが、結局、原文にできるだけ忠実に翻訳することにした。そして人名もそのままにした。ただ説明が必要と思われるところに「注1」「注2」として訳者の註を入れて補足した。

また原文はかなり教条的に書いてあるが、できるだけ話の筋道を通すような表現を使うように努力した。言葉の上では、公立学校という風に訳したところがあるが、これは日曜学校に対する、一般の学校のこととて、必ずしも国立、県立、市立という意味ではない。

本書はアッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団の日曜学校職員のために書かれたものなので、内容にもそのような事が二、三出てくるが、その点にこだわらなければ、広く日本全国の日曜学校の教師たちに益するところが多くあることを確信する。

願わくば本書が主の御栄光のために用いられんことを。

豊橋にて 桜井理恵子

〔参考文献〕

- Allen, Hattie Bell. *Living for Jesus-Stewardship for Juniors*. Nashville, Tenn.: Broadman Press, 1939
- Eakin, Mildred Moody. *Teaching Junior Boys and Girls*. New York: Leadership Training Publishing Association.
- Frandsen, Arden M. *How Children Learn*. New York: McGraw-Hill Book Co., 1957.
- Flynt, Fay De Beck. *Teaching Juniors*. Philadelphia: Judson Press.
- Gesell, Arnold. *The Child From Five to Ten*. New York: Harpers & Brothers.
- Gesell, Arnold. *Youth, The Years From Ten to Sixteen*. New York: Harpers & Brothers.
- Harris, Jane Bowerman. *When We Teach Juniors*. Philadelphia: Board of Christian Education.
- Hill, Dorothy LaCroix. *Working with Juniors at Church*. New York: Abingdon Press.
- Lawrance, Marion. *My Message to Sunday School Workers*. New York: Branwell Press.
- LeBar, Lois. *Children in the Bible School*. Westwood, N.J.: Fleming H. Revell Company.
- Lee and Lee. *The Child and His Development*. New York: Appleton-Century-Crofts.
- Linthicum, Blanche. *Junior Sunday School Work*. Nashville, Tenn.: Southern Baptist Convention.
- Prescott, Daniel A. *The Child in the Educative Process*. New York: McGraw-Hill Book Co., 1957
- Rice, Lillian Moore. *How to Work with Juniors*. Nashville, Tenn.: Convention Press.
- Soderholm, Marjorie. *Understanding the Pupil*. Grand Rapids, Mich.: Baker Book House.
- U.S. Department of Health, Education, and Welfare, Social Security Administration, Children's Bureau. *Your Child From 6 to 12*. Washington, D.C.: U.S. Government Printing Office.